EPSON

Home Theatre Projector
ホームシアター・プロジェクター

取扱説明書

ELP-TS10

お使いになる前に

保証書別添

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。本製品を、安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。読んだ後は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に、保証書とともに大切に保存してください。

説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方

本機の説明書は、次の４冊で構成されています。以下の順番でお読みください。

❶箱を開けてから投写するまで
本機の梱包を解いてから、実際に使い始めるまでの手順と同梱品について記載しています。

❷安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内
本製品を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。
使い始める前に、必ずご覧ください。

❸セットアップガイド
本機を使い始めるまでの準備 (リモコンの準備・設置・ビデオ機器やコンピュータなどとの接続) について記載しています。

❹取扱説明書 (本書)
本機の基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

一般情報に関する表示

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☞	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
▸▸	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。☞ p.60
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
［（ボタン名）］	操作パネルまたはリモコンのボタンを示しています。 例： [Esc]
「（メニュー名）」	環境設定メニューの項目を示しています。 例：「映像」-「コントラスト」

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに付属品や別売品も含まれる場合があります。

目次

本機の特長 2

基本的な操作

電源を入れて投写しよう 6
電源ケーブルの接続 6
電源 ON、投写開始 7
電源を切り終了しよう 8
投写画面を調整しよう 10
投写サイズの微調整 10
投写角度の調整 10
台形にゆがむ場合の調整 11
画質を調整しよう 13
ピントの調整（フォーカス調整） 13
映り具合を選ぶ（カラーモード選択） 13
映像の縦横比の選択 (アスペクト比の選択) 14
コンピュータ映像の調整 15
音量を調整しよう 17

設定と便利な機能

環境設定メニューの機能と操作 20
「映像」メニュー 20
「音声」メニュー 22
「設定」メニュー 22
「ユーザーロゴ」メニュー 23
「高度な設定」メニュー 24
「情報」メニュー 24
「全初期化」メニュー 25
環境設定メニューの操作 26
コンピュータ接続時の便利な機能 28
A/V ミュート 28
フリーズ 28
E ズーム 29
P in P(ピクチャー イン ピクチャー機能) 30

困ったときに

ヘルプの使い方 34
故障かなと思ったら 35
インジケータを見てもわからないとき 37

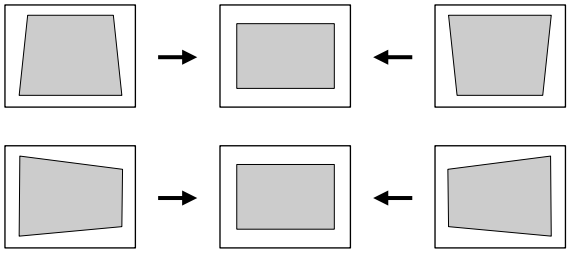
付　録

お手入れの方法 44
各部の掃除 44
消耗品の交換 45
ユーザーロゴの登録 49
オプション品一覧 51
対応解像度一覧 52
コンポーネント映像入力 52
コンポジット映像／ S ビデオ入力 52
コンピュータ 53
仕様一覧 54
外形寸法図 55
各部の名称と働き 56
前面／上面 56
本体操作パネル 57
背面 58
底面 58
リモコン 59
用語解説 60
索引 62

本機の特長

斜めから投写できるタテヨコ台形補正機能を搭載

台形にゆがんだ映像を簡単に補正できます。垂直(縦)方向だけでなく水平(横)方向のゆがみについても補正できます。
これにより、スクリーンの真正面に設置しなくても斜め横から写した映像もきれいに投写できます。☞p.11

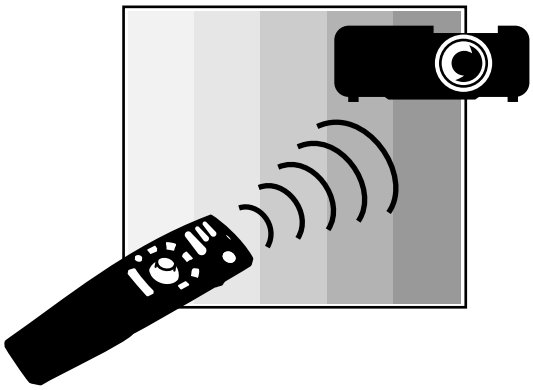


小型で軽量

A4ファイルサイズ(274(D)×348(W)×104(H)mm)、軽量(約4.2kg)なコンパクトボディーで、持ち運びも楽々。

5つのカラーモードを搭載

あらかじめ登録されている次の5つの設定から、投写映像に応じてお好みのモードを選択するだけで最適な映像を投写できます。面倒なカラー調整は不要です。
・ダイナミック　・シアター　・ナチュラル
・PC　・sRGB▸▸
☞ p.13

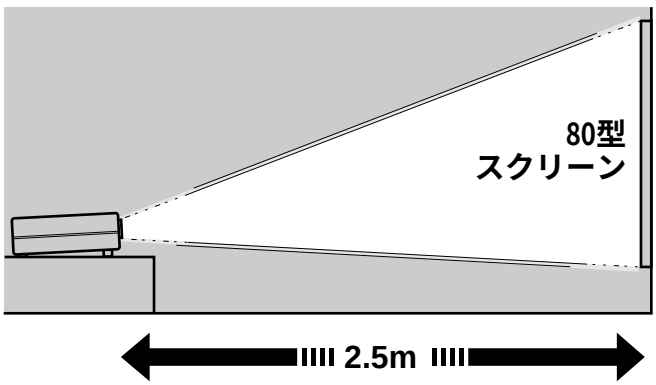


美しく鮮明な映像

小型ながら、高解像度、高輝度による見やすい画面を実現。
明るい場所でも、美しく鮮やかな映像を写し出せます。

2.5mの距離で80型のスクリーンに投写できる短焦点レンズを採用

お部屋で大画面を楽しみたいというニーズに応えます。
これなら、6畳間で100型スクリーンへ投写することもできます。
☞『セットアップガイド』



基本的な操作

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

電源を入れて投写しよう 6

- 電源ケーブルの接続 6
- 電源 ON、投写開始 7

電源を切り終了しよう 8

投写画面を調整しよう 10

- 投写サイズの微調整 10
- 投写角度の調整 10
- 台形にゆがむ場合の調整 11

画質を調整しよう 13

- ピントの調整（フォーカス調整） 13
- 映り具合を選ぶ（カラーモード選択） 13
- 映像の縦横比の選択 (アスペクト比の選択) 14
  - ・SDTV 時 14
  - ・HDTV 時 14
  - ・16：9 表示の位置変更 14
- コンピュータ映像の調整 15
  - ・自動調整 15
  - ・トラッキングの調整 15
  - ・同期の調整 16

音量を調整しよう 17

電源を入れて投写しよう

電源を入れ、投写を行うまでの手順を説明します。

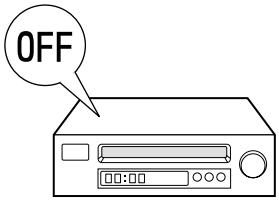
注意

投写する前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

電源ケーブルの接続

操作

1



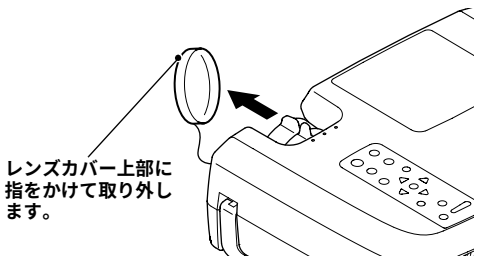
本機に接続する、すべての機器の電源を切ってあることを確認します。

2

本機とビデオ機器、またはコンピュータを接続します。

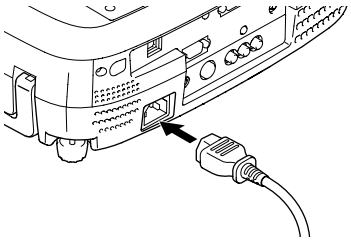
☞『セットアップガイド』

3



レンズカバーを取り外します。

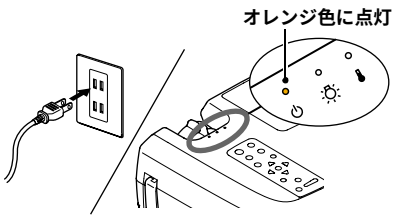
4



同梱の電源ケーブルを取り付けます。

本機の電源端子と、電源ケーブルのコネクタ形状の向きを合わせて、奥までしっかりと差し込みます。

5



電源プラグをコンセントに差し込みます。

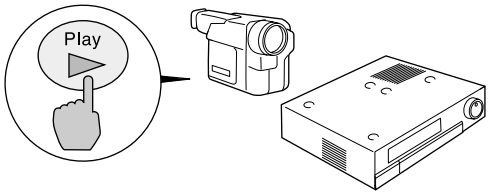
⏻インジケータがオレンジ色の点灯に変わるまで待ちます。

⏻インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、操作パネルやリモコンのボタン操作は無効となります。

電源 ON、投写開始

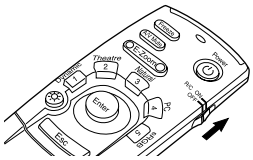
操作

1



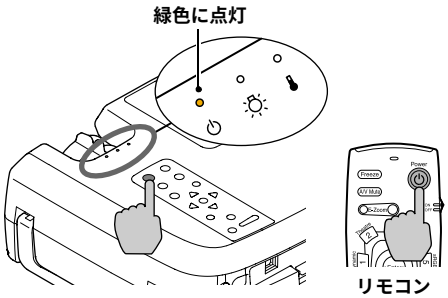
本機に接続している機器の電源を入れます。
ビデオ機器の場合は、[再生] や [プレイ] ボタンを押します。
本機の⏻インジケータがオレンジ色で点灯しているのを確認します。

2



リモコンを使用する場合は、リモコンの R/C スイッチを ON にします。

3



本体の [電源] ボタン、またはリモコンの [Power] ボタンを押して電源を入れます。
⏻インジケータが緑色の点滅に変わり、しばらくするとランプが点灯し投写が始まります。
⏻インジケータが緑色の点灯に変わるのを確認します（約 30 秒かかります）。

> **⏻インジケータが緑色で点滅しているときは、操作パネルやリモコンのボタン操作は無効となります。緑色の点灯に変わるまでお待ちください。**
> **環境設定メニューの設定によっては、「映像信号が入力されていません。」と表示されます。** ☞「設定」-「ノーシグナル表示」p.23

4 **複数の機器を接続している場合は、下表を参照し、本体またはリモコンのボタンで目的の機器が接続されている端子を選択します。**

接続端子	選択するボタン		画面左下の表示※
	本体	リモコン	
Computer1	[コンピュータ / 色差▸▸]	[Comp1]	Computer1(Digital-RGB) Computer1(Analog-RGB) Computer1(RGB-Video)
Computer2/ Component Video		[Comp2/YCbCr]	Computer2(Analog-RGB) Computer2(RGB-Video) Computer2(YCbCr▸▸) Computer2(YPbPr▸▸)
S-Video	[ビデオ]	[S-Video]	S-Video
Video		[Video]	Video

※表示は約 3 秒で消えます。

- **接続機器が一台だけの場合は、入力切替のボタンを押さなくても投写されます。**
- **「映像信号が入力されていません。」と表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。**
- **ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときには、映像が投写されないことがあります。接続後にコンピュータの信号を外部に出力させる設定をコンピュータ側で行ってください。**
  下表は、出力切り替えの一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」「外部モニタへの出力」などの項をご覧ください。

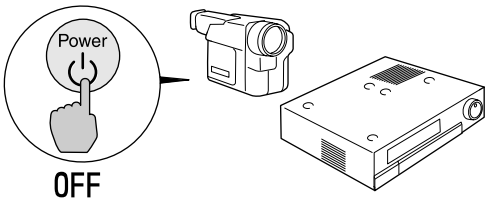
NEC 製	Panasonic 製	東芝製	IBM 製	SONY 製	富士通	Macintosh
[Fn]+[F3]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F5]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F10]	再起動した後、コントロールパネルの調整でミラーリングの設定にする。

電源を切り終了しよう

投写を終了するには、次の手順で行います。

操作

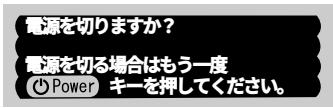
1



本機に接続している機器の電源を OFF にします。

すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。

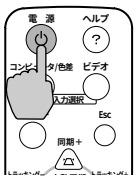
2



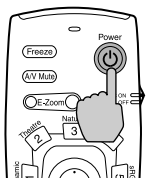
本体の [電源] ボタン、またはリモコンの [Power] ボタンを押します。

左記の確認メッセージが表示されます。
電源を切りたくないときは、他のボタンを押します。
何も操作しないと、約7秒後に自動的にメッセージは消えます（電源は切れません）。

3



本体



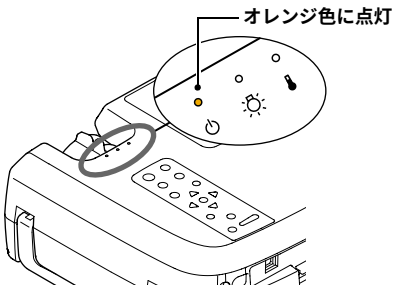
リモコン

もう一度 [電源] ボタン、または [Power] ボタンを押します。

ランプが消灯します。⏻インジケータがオレンジ色に点滅し、クールダウン▶▶が始まります。
クールダウンの時間は約 2 分です (外気温などによって変わります)。

> **⏻インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、操作パネルやリモコンのボタン操作は無効となります。オレンジ色の点灯に変わるまでお待ちください。**

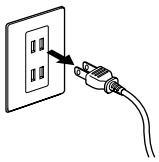
4



⏻インジケータがオレンジ色の点灯に変わるのを確認します。

⏻インジケータがオレンジ色の点灯に変われば、クールダウンが終了した印です。

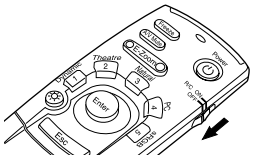
5



本機を長時間、使用しない場合は、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜きます。

> 注意
> **⏻インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。**

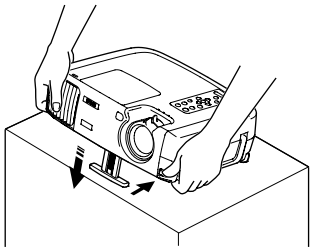
6



リモコンの R/C スイッチを OFF にします。

リモコンの R/C スイッチが ON のままになっていると電池が消耗します。使用しないときは R/C スイッチを OFF にしてください。

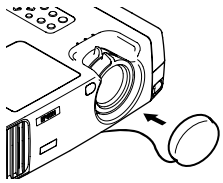
7



フロントフットが出ているときは収納します。

フットボタンを押したまま、本体をゆっくり降ろします。

8



レンズカバーを取り付けます。

レンズにホコリや汚れが付着するのを防ぐために、使用しないときはレンズカバーを取り付けます。

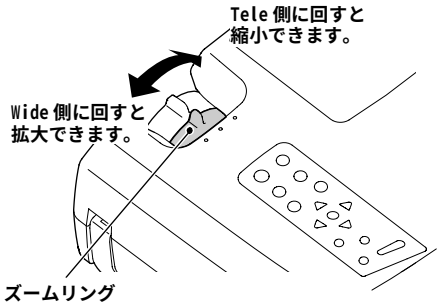
投写画面を調整しよう

投写画面の各種調整を行い、最適な投写状態にします。

投写サイズの微調整

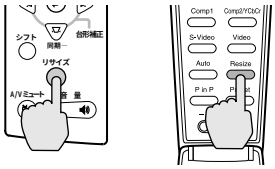
基本的に投写サイズは、スクリーンから本機の設置位置までの距離で合わせます。
☞『セットアップガイド』
ここでは、その後に行う調整の方法を説明します。

操作



本体のズームリングを回して調整します。
1.35 倍まで拡大できます。
さらに拡大したいときは、投写距離で調整します。☞『セットアップガイド』

コンピュータを接続している場合は、本体の [リサイズ] ボタンまたはリモコンの [Resize] ボタンでリアル表示 / リサイズ表示を切り替えることができます。
- **リサイズ表示 (初期状態) :**
  どの解像度のときも投写サイズいっぱいになるよう自動処理して投写します。
- **リアル表示 (ウィンドウ表示) :**
  入力解像度のまま投写します。
  解像度によっては投写サイズと映像サイズが異なる場合があります。

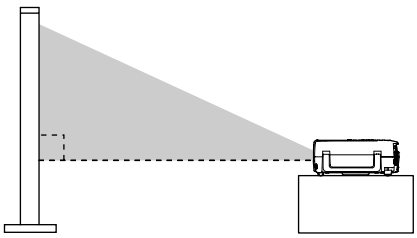


本体　リモコン

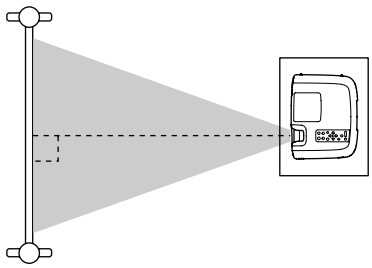
投写角度の調整

プロジェクターは、できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。

横から見たとき

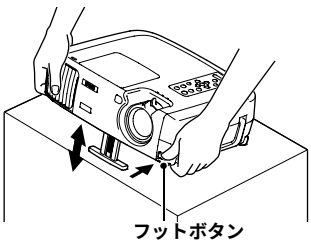


上から見たとき



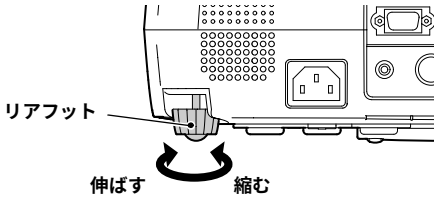
本機をスクリーンに対して直角に設置できない場合は、上下・左右に傾けて設置できます。上方向には、フロントフットの伸縮を調節することで、最大傾斜角度 12° までの範囲で角度をつけられます。

操作



フットボタンを押したまま本機前面を持ち上げると、フロントフットが伸びます。
投写したい角度になるまでフットを伸ばし、フットボタンを離します。
フットを収納するには、フットボタンを押したまま、本機をゆっくり降ろします。

- フット調整をすると、画面が台形にゆがむことがあります。台形ゆがみは台形補正で調整できます。
- 本機が水平方向に傾いているときは、リアフットを回して調整します。

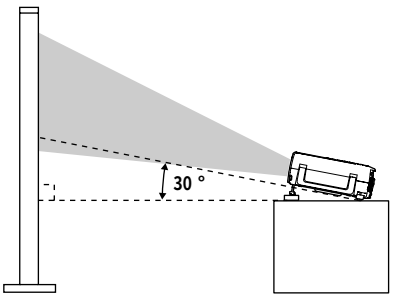


台形にゆがむ場合の調整

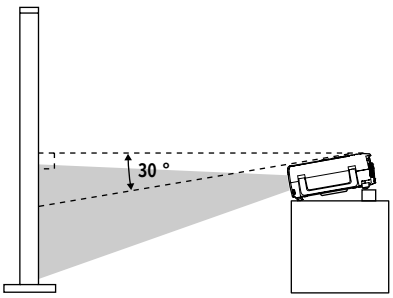
本機を傾けて設置すると、投写した画面が台形にゆがむことがあります。傾斜角度が、上下方向に約 30°、左右方向に約 10° までの範囲内であれば、台形補正機能で台形のゆがみを調整できます。
ここで記載した値は、ズームを最も Tele(最小) 側に設定した場合の値です。傾斜角度の最大値はズームを Wide 側に調整するほど小さくなります。さらに、上下左右とも傾けた場合は、それぞれの最大傾斜角度は単独で傾けたときよりも小さくなります。

- **上下方向**

上方向に約 30 °

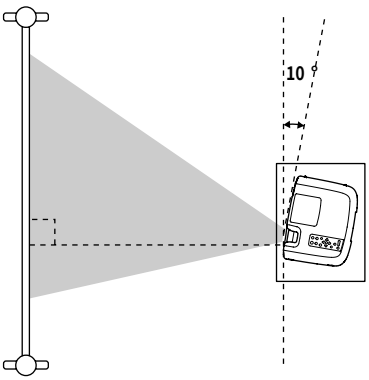


下方向に約 30 °

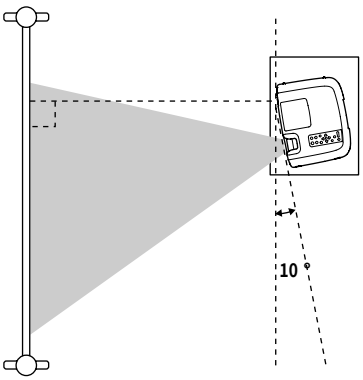


- **左右方向**

右方向に約 10 °

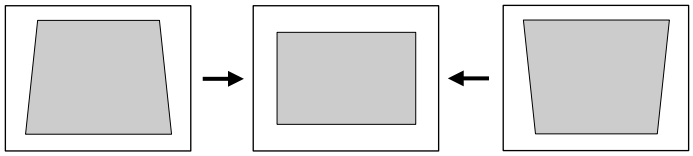


左方向に約 10 °

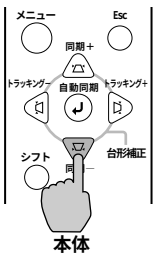


操作　台形補正は、本体操作パネルと環境設定メニューから調整できます。ここでは、本体操作パネルからの調整方法を記載します。環境設定メニューからの調整☞「設定」-「縦キーストーン」、「横キーストーン」p.22,23

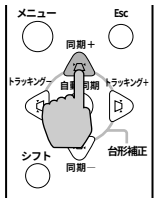
垂直（縦）方向への補正



本体の ▽、または △ ボタンを押して調整します。

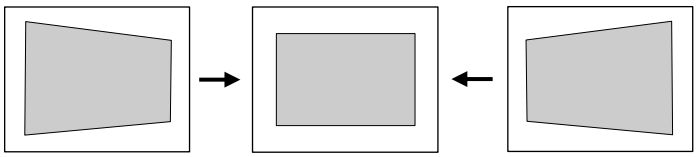


本体

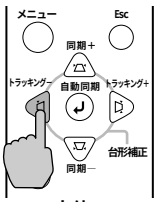


本体

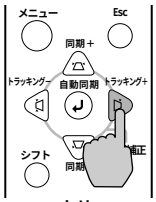
水平（横）方向への補正



本体の ◁、または ▷ ボタンを押して調整します。



本体



本体

水平 / 垂直の台形補正を組み合わせて使うときの手順

1. 本機のフロントフットを収納している状態で、本機を水平に設置します。
2. 必要に応じてフロントフットで角度を付けます。
3. 画面の縦の辺が垂直になるように垂直方向の台形補正を行います。
4. 画面の横の辺が水平になるように水平方向の台形補正を行います。

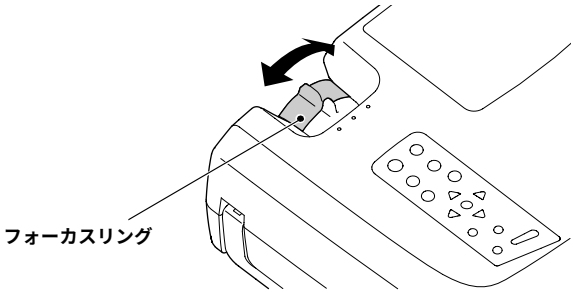
- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置状態に合うように再調整してください。
  以前行った台形補正を初期の状態に戻すには、次の操作で行います。
  垂直方向の台形補正の初期化：△ボタンを押したまま、▽ボタンを 1 秒以上押す。
  水平方向の台形補正の初期化：◁ボタンを押したまま、▷ボタンを 1 秒以上押す。
- 台形補正で投写映像にムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。☞p.20,21
- 水平・垂直の台形補正を組み合わせて使うと、それぞれ単独で調整する場合よりも補正量が少なくなります。
- 水平（垂直）の台形補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなったら、水平（垂直）の台形補正量の限界を超えたことを示しています。本機を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。☞p.11
- 水平(垂直)の台形補正と、Eズーム、P in Pのいずれかの機能を併用する場合、台形補正量が限界に近い状態で E ズームや P in P を行おうとすると、台形補正量が変化する場合があります。
- 入力している映像信号により、台形補正量の限界値が異なります。

画質を調整しよう

映像の画質を調整します。

ピントの調整（フォーカス調整）

操作



フォーカスリングを回してピントを調整します。

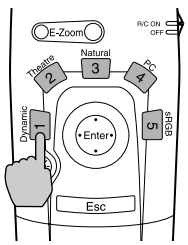
- **レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。** ☞p.44
- **スクリーンまでの設置距離が 0.9m より近いと、ピントは合いません。設置距離を確認してください。**

映り具合を選ぶ（カラーモード選択）

映像の特徴に合わせた次の 5 種類の色設定があらかじめ記録されています。投写映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが異なります。

モード名	使い方
ダイナミック	メリハリがあり、迫力のある映像をお楽しみいただくときに適しています。
シアター	映画など、暗いシーンの多い映像をお楽しみいただくときに適しています。
ナチュラル	自然な風合いをお楽しみいただくときに適しています。
PC	コンピュータ映像をなるべく明るくご覧になりたいときに適しています。
sRGB▸▸	色の標準規格である sRGB に準拠します。接続している機器に sRGB モードがある場合、本機と接続機器の両方とも sRGB に設定して使用します。

操作



リモコン

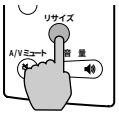
リモコンの [1] ～ [5] ボタンを押すと、対応したカラーモードに切り替わります。

環境設定メニューの「映像」-「カラーモード」からも設定できます。 ☞p.20,21

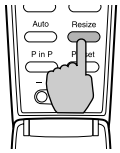
映像の縦横比の選択（アスペクト比の選択）

ビデオ映像投写時はアスペクト比▸▸4：3と16：9を切り替えることができます。
デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16：9のワイド画面で投写できます。

操作



本体

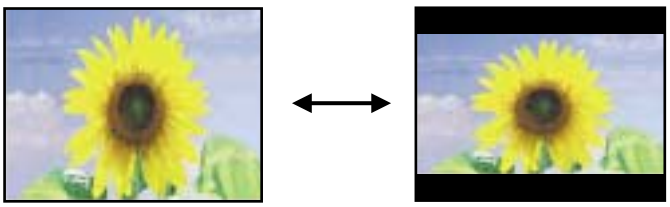


リモコン

本体の［リサイズ］ボタン、またはリモコンの［Resize］ボタンを押すたびに、アスペクト比が切り替わります。

SDTV▸▸時

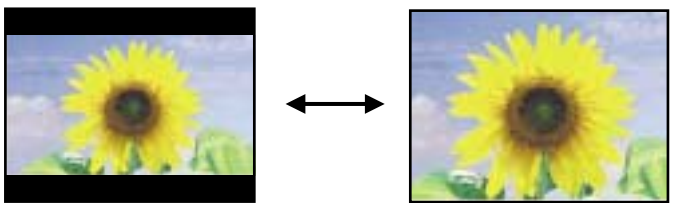
4：3表示　　16：9表示



16：9出力（スクイーズモード）の映像を4：3のアスペクト比で表示すると水平方向に圧縮され縦長の映像になります。

HDTV▸▸時

16：9表示　　4：3表示



16：9出力（スクイーズモード）の映像を4：3のアスペクト比で表示すると中央部分を画面いっぱいに投写します。

いくつかのBSデジタルチューナでは、4：3の映像を写すと上下左右に黒い枠が出るものがあります。このような場合に、本機で投写すると、画面いっぱいに投写できます。

16：9表示の位置変更

中央　　上　　下

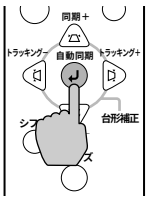
本体の［シフト］ボタンを押したまま［リサイズ］ボタンを押すたびに、左記のように表示位置を変更できます。

コンピュータ映像の調整

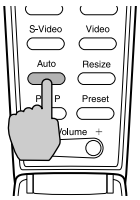
自動調整

コンピュータの映像を最適な状態に自動調整します。
自動調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期 (Sync.) の 3 項目です。

操作



本体

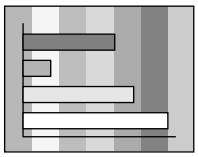


リモコン

コンピュータの映像を投写中に、本体の [自動同期] ボタン、またはリモコンの [Auto] ボタンを押します。
機能実行中、画面は黒色表示になります。

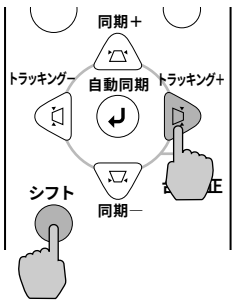
- **環境設定メニュー、ヘルプ表示中は、本体操作パネルの [自動同期] ボタンは、メニューなどの選択・決定に使われます。この場合は、リモコンの [Auto] ボタンを押すか、環境設定メニュー、ヘルプを終了させてから [自動同期] ボタンを押します。**
- **EズームやA/Vミュート、ピクチャー イン ピクチャーを実行しているときに、リモコンから自動調整を行うと、実行している機能を解除してから調整します。本体の [自動同期] ボタンを押した場合は、E ズーム・ピクチャー イン ピクチャー実行時は自動調整できません。**
- **コンピュータが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、それぞれトラッキングと同期を手動で調整してください。**

トラッキングの調整



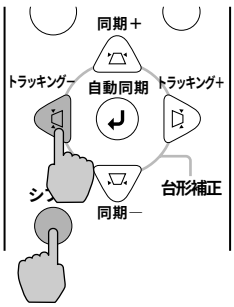
自動調整を行っても、コンピュータの映像に縦の縞模様が出て調整しきれない場合は、次のように個別にトラッキングの調整を行います。

操作



本体

本体の [シフト] ボタンを押したまま [トラッキング＋] ボタンを押します。
ボタンを押すたびにトラッキングの値がアップします。

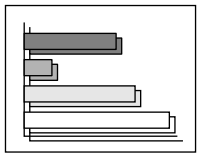


本体

本体の [シフト] ボタンを押したまま [トラッキング－] ボタンを押します。
ボタンを押すたびにトラッキングの値がダウンします。

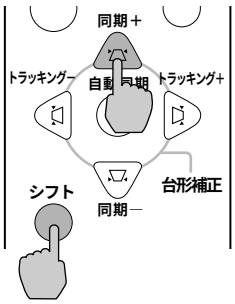
連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障ではありません。

同期の調整



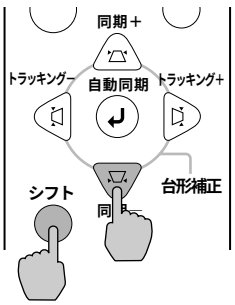
自動調整を行っても、コンピュータの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整しきれない場合は、次のように個別に同期▸▸調整を行います。

操作



本体

本体の［シフト］ボタンを押したまま［同期＋］ボタンを押します。
ボタンを押すたびに同期の値がアップします。



本体

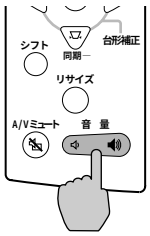
本体の［シフト］ボタンを押したまま［同期－］ボタンを押します。
ボタンを押すたびに同期の値がダウンします。

- **トラッキング▸▸を合わせてから同期を調整しないと、完全には調整できません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなりますので、トラッキングのずれを確認してください。**
- **ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト▸▸、シャープネス、台形補正の調整で起こることもあります。**

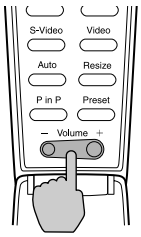
音量を調整しよう

本機の内蔵スピーカの音量を調節します。

操作



本体



リモコン

本体の [音量 🔈 , 🔊] ボタン、またはリモコンの [Volume − , +] ボタンを押します。

[🔊][＋] 側を押すと音量が上がり、[🔈] [−] 側を押すと下がります。音量値の変更中は音量ゲージが表示されます。

設定と便利な機能

この章では、環境設定メニューについてと、コンピュータを接続して投写するのに便利な機能について説明しています。

環境設定メニューの機能と操作 20

- 「映像」メニュー..... 20
  - ・ビデオ 20
  - ・コンピュータ 21
- 「音声」メニュー..... 22
- 「設定」メニュー..... 22
- 「ユーザーロゴ」メニュー 23
- 「高度な設定」メニュー 24
- 「情報」メニュー..... 24
  - ・コンポジット映像・S ビデオ 24
  - ・コンポーネント映像・コンピュータ 25
- 「全初期化」メニュー 25
- 環境設定メニューの操作 26

コンピュータ接続時の便利な機能 28

- A/V ミュート 28
- フリーズ..... 28
- E ズーム..... 29
- P in P(ピクチャー イン ピクチャー機能)..... 30

環境設定メニューの機能と操作

環境設定メニューでは、各種調整や設定ができます。
メニューは、トップメニューとサブメニュー、サブサブメニューがあり、階層構造になっています。

「映像」メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは、「映像」メニューは調整できません。
- 「映像」メニューは投写している入力信号によって表示される項目が異なります。投写している入力信号以外のメニューは調整できません。

ビデオ (S-Video、Video、YCbCr▸▸、YPbPr▸▸)

S-Video、Video

コンポーネント (YCbCr、YPbPr)

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 ●本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの[Enter]ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値 (0)
コントラスト▸▸	映像の明暗の差を調整します。	中心値 (0)
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。	中心値 (0)
色合い	映像の色合いを調整します。 NTSC 信号時のみ調整できます。	中心値 (0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値 (0)
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。 5 種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ●ダイナミック：メリハリがあり、迫力のある映像をお楽しみいただくときに適しています。 ●シアター：映画など、暗いシーンの多い映像をお楽しみいただくときに適しています。 ●ナチュラル：自然な風合いをお楽しみいただくときに適しています。 ●PC：コンピュータ映像をなるべく明るくご覧になりたいときに適しています。 ●sRGB▸▸：色の標準規格であるsRGB規格に準拠した映像にします。※	ダイナミック

サブメニュー	機能	初期設定値
ビデオ信号方式	(S-Video、Video のみ) ビデオ信号方式を設定します。 ●本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの[Enter]ボタンを押して表示される Video 信号方式選択メニューから選択します。 ●「Auto」にすると自動的にビデオ信号を設定しますが、PAL(60Hz) 方式の場合は Manual で設定してください。	Auto
ノイズ リダクション	ノイズリダクション機能の ON/OFF を設定します。 「ON」に設定すると、ノイズを軽減します。 環境設定メニューやヘルプを表示している間は「ON」にしても機能しません。終了した時点から機能が有効となります。	OFF
初期化	「映像」メニューの調整値を初期値に戻します。 ●本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの[Enter]ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などすべてのメニューの設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☞p.25	-

※カラーモードを sRGB に設定すると「高度な設定」-「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

コンピュータ (Analog-RGB、Digital-RGB)

Analog-RGB

Digital-RGB

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	(Analog-RGB のみ) 映像の表示位置を上下左右に移動します。 ●本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの[Enter]ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
トラッキング▶▶	(Analog-RGB のみ) コンピュータ映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	接続信号による
同期▶▶	(Analog-RGB のみ) コンピュータ映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 ●ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト▶▶、シャープネス、台形補正の調整で発生することもあります。 トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。	0
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値 (0)
コントラスト▶▶	映像の明暗の差を調整します。 ●設定方法にはAutoとManualがあります。Auto設定にすると、定期的にコントラストの自動調整を行います。	Auto
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値 (0)
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソースごとに設定を保存できます。 5 種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ●ダイナミック：メリハリがあり、迫力のある映像をお楽しみいただくときに適しています。 ●シアター：映画など、暗いシーンの多い映像をお楽しみいただくときに適しています。 ●ナチュラル：自然な風合いをお楽しみいただくときに適しています。 ●PC：コンピュータ映像をなるべく明るくご覧になりたいときに適しています。 ●sRGB▶▶：色の標準規格である sRGB 規格に準拠した映像にします。※	PC

サブメニュー	機能	初期設定値
入力解像度	(Analog-RGB のみ) Auto か Manual を選択します。 ●Auto を選択するとオートセットアップを実行します。 ●Manual を選択した場合、入力解像度をリストから選択して調整します。	Auto
プリセット登録	(Analog-RGB のみ) プリセットリストへ現在の入力解像度の登録を行います。	-
初期化	「映像」メニューの調整値を初期値に戻します。 ●本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などすべてのメニューの設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☞p.25	-

※カラーモードを sRGB に設定すると「高度な設定」-「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

「音声」メニュー

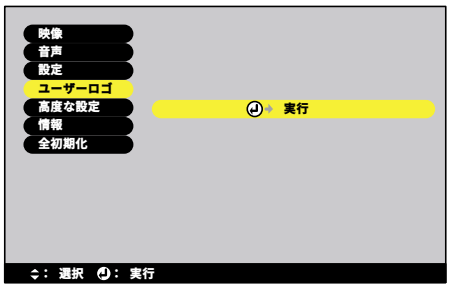
サブメニュー	機能	初期設定値
音声入力	Audio1/Audio2/USB から、現在の映像ソースに対応する音声入力端子の設定を行います。	接続信号により異なる
音量	音量を調節します。	15
高音	高音の強さを調整をします。	中心値 (0)
低音	低音の強さを調整をします。	中心値 (0)
初期化	「音声」メニューの調整値を初期値に戻します。 ●本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などすべてのメニューの設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☞p.25	-

「設定」メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
縦キーストーン	台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。 ●台形補正をすると画面が小さくなります。 ●水平 / 垂直の台形補正を組み合わせて使う場合は、まず垂直方向の台形補正を行ってから水平方向の台形補正を行ってください。	中心値 (0)

	●台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置位置にあった状態に再調整してください。 ●台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。 ●水平・垂直の台形補正を組み合わせて使うと、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正量が少なくなります。	
横キーストーン	台形にゆがんだ画面を水平方向に補正します。 ●台形補正をすると画面が小さくなります。 ●水平 / 垂直の台形補正を組み合わせて使う場合は、まず垂直方向の台形補正を行ってから水平方向の台形補正を行ってください。 ●台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置位置にあった状態に再調整してください。 ●台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。 ●水平・垂直の台形補正を組み合わせて使うと、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正量が少なくなります。	中心値 (0)
P in P	ピクチャー イン ピクチャー機能の子画面の入力ソースを、コンポジットビデオ、S-Video のどちらかに設定します。 ●ピクチャー イン ピクチャー機能は[P in P]ボタンで実行します。 ☞p.30	コンポジット
ノーシグナル表示	映像信号が入力されていないときなどのメッセージ表示の状態、バックグラウンドの画面の設定を行います。 ●ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。 ☞p.49	青
入力表示	入力映像のソースプロンプトを画面に表示するかしないかを設定します。	ON
A/V ミュート▶▶	本体の [A/V ミュート]、またはリモコンの [A/V Mute] ボタンを押したときの画面の状態を設定します。 ●ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	黒
Comp1 入力	Computer1 入力への映像信号の設定を行います。	Digital-RGB /Analog-RGB
Comp2/YCbCr▶▶ 入力	Computer2 入力への映像信号の設定を行います。	YCbCr
スリープ モード	映像信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。 ●「ON」にしておくと、「映像信号が入力されていません」の表示状態で30分間操作しないと自動的に投写を終了し、スリープモード (スタンバイ状態) になります。(⏻インジケータはオレンジ色に点灯しています。) ●本体の [電源] ボタン、またはリモコンの [Power] ボタンを押すと投写を再開します。	ON
初期化	「設定」メニューの調整値を初期値に戻します。 ●本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などすべてのメニューの設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☞p.25	-

「ユーザーロゴ」メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
実行	ユーザーロゴを登録します。 ☞p.49 ●本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの [Enter] を押して、表示される画面の指示に従って操作します。	EPSON ロゴ

「高度な設定」メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
言語	メッセージに表示する言語を設定します。 ●本体の ⏎ ボタンまたは、リモコンの [Enter] ボタンを押して表示される言語の選択メニューから選択します。	日本語
スタートアップスクリーン	スタートアップスクリーンの表示の有効・無効の設定を行います。 ●ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	ON
カラー調整	映像の色温度▶▶と RGB の各色の強さを調整します。 **色温度**：白色を赤みがかった色から、青みがかかった色まで調整できます。色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。 ●本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの [Enter] ボタンを押して表示されるカラー調整メニューで設定します。 **RGB**：RGB(赤緑青) の各色ごとの強さを設定します。 ●本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの [Enter] ボタンを押して表示されるカラー定義メニューで R(赤)、G(緑)、B(青) の項目を選択し、それぞれ設定します。 ●設定は画面の状態を見ながら調整してください。 (「映像」-「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定している場合、本項目は選択できません)	色温度： 接続信号により異なる
リア	半透過性のスクリーンに後方から投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が左右に反転します。	OFF
天吊り	天井に取り付けたり、本機を裏返しに置いて投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が上下左右に反転します。	OFF
通信ポート	Control(RS-232C) と USB シリアル通信を切り替えます。	RS-232C
初期化	「高度な設定」メニューの調整値を初期値に戻します。 ●本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの [Enter] を押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などすべてのメニューの設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。	-

「情報」メニュー

- 「情報」メニューは投写している映像ソースの状態を表示します。
- 「ランプ点灯時間」は、0～10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は１時間単位で表示します。

コンポジット映像▶▶・S ビデオ▶▶

サブメニュー	機能	初期設定値
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。 ●ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色（赤）で表示されます。	0H
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプの点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。 ☞p.47	-
映像ソース	現在投写中の映像ソースを表示します。	
ビデオ信号方式	ビデオの信号方式を表示します。	Auto

コンポーネント映像▸▸・コンピュータ

サブメニュー	機能	初期設定値
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。 ●ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色（赤）で表示されます。	0H
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	-
映像ソース	現在投写中の映像ソースを表示します。	-
入力信号	入力信号の設定を表示します。	-
周波数	水平・垂直走査周波数を表示します。	-
同期極性	同期▸▸の極性を表示します。	-
同期モード	同期の属性を表示します。	-
入力解像度	入力解像度を表示します。	-
リフレッシュレート▸▸	リフレッシュレートを表示します。	-

「全初期化」メニュー

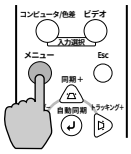
サブメニュー	機能	初期設定値
実行	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 ●本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●「映像」や「音声」などメニューごとの設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 ●ユーザーロゴ、ランプ点灯時間、言語は初期値に戻りません。	-

環境設定メニューの操作

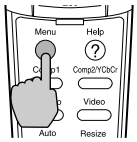
環境設定メニューは本体とリモコンの両方で操作できます。

操作

1



本体



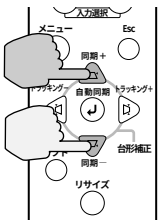
リモコン

本体の［メニュー］ボタン、またはリモコンの［Menu］ボタンを押します。

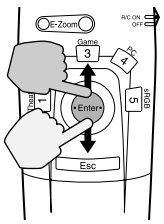
環境設定メニューが表示されます。

環境設定メニューはトップメニューとサブメニューで構成されています。現在、選択されているトップメニュー項目（黄色の表示）に対応するサブメニューが表示されます。

2



本体



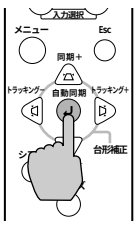
リモコン

項目を選択します。

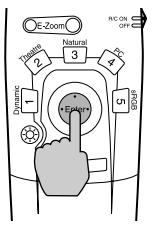
本体の場合は、△ ▽ ボタンを押します。

リモコンの場合は、［Enter］ボタンを上下に傾けます。

3



本体



リモコン

項目を決定します。

本体の ⏎ ボタン、またはリモコンの［Enter］ボタンを押して項目を決定します。

選択したトップメニューに対応するサブメニューが表示されます。

4

サブメニューで設定する項目を選択します。

本体の場合は、△ ▽ ボタンを押します。

リモコンの場合は、［Enter］ボタンを上下に傾けます。

「映像」メニューや「情報」メニューは、投写している入力信号によって表示される項目が異なります。

5

設定値を選択します。

本体の場合は、◁ ▷ ボタンを押します。
リモコンの場合は、[Enter] ボタンを左右に傾けます。

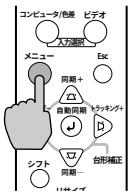
- **設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろに「 実行」や「 選択」と表示されます。この場合は本体の ボタン、またはリモコンの [Enter] ボタンを押して表示されたメニューで設定値を選択します。**
- **各設定項目の機能については機能一覧を参照してください。** p.20

6

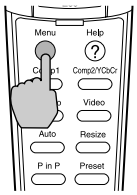
続いて他の項目も同様に設定します。

手順2～5と同様です。1つ前の階層に戻るには、[Esc] ボタンを押します。

7



本体



リモコン

環境設定メニューを終了します。

本体の [メニュー] ボタン、またはリモコンの [Menu] ボタンを押します。

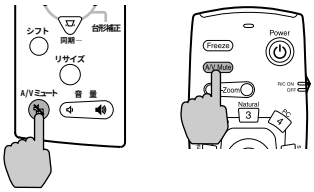
コンピュータ接続時の便利な機能

コンピュータと接続して使う場合の便利な機能について説明します。

A/V ミュート

映像と音声を一時的に消します。
例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内容を見ている人に表示したくない場合に使用すると便利です。
ただし、動画を消している場合は消えている間も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。

操作

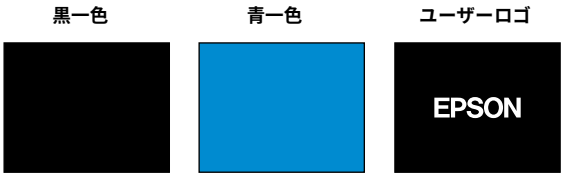


本体

リモコン

本体の [A/V ミュート] ボタン、またはリモコンの [A/V Mute] ボタンを押します。
映像と音声が消えます。

本体およびリモコンのいずれかのボタンを押すと投写を再開します。



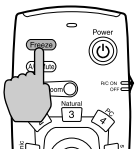
映像と音声を一時的に消したときの状態を、環境設定メニューの「設定」-「A/V ミュート」により、左記の 3 種類の中から選択できます。

> **ユーザーロゴには EPSON ロゴが登録してあります。ユーザーロゴを変更する場合は、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。** ☞p.49

フリーズ

映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。
なお、動画の場合は停止している間も映像は進んでいますので、停止したときの場面からは再開できません。

操作



リモコン

リモコンの [Freeze] ボタンを押します。
映像が停止します。

解除するには再び [Freeze] ボタンを押すか、[Esc] ボタンを押します。

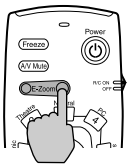
> - **[Freeze] ボタンを押すと、環境設定メニューやヘルプメッセージは消去されます。**
> - **P in P で子画面決定後や E ズーム実行時は、フリーズを行い、その表示画面を停止できます。**

E ズーム

見たい部分を拡大 / 縮小できます。

操作

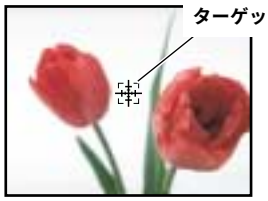
1



リモコン

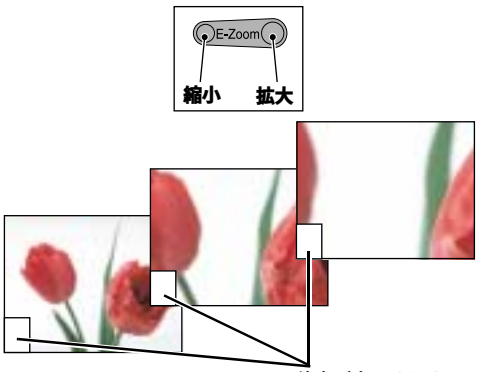
リモコンの [E-Zoom] ボタンを押します。
投写中の画面に、ズームを行う中心点を表すカーソル (ターゲットスコープ) が表示されます。

2



拡大 / 縮小表示したい部分にターゲットスコープを移動させます。
ターゲットスコープはリモコンの [Enter] ボタンを傾けて移動します。

3



倍率が表示されます

[E-Zoom] ボタンの右側を押すとターゲットスコープを中心に映像が拡大されます。
[E-Zoom] ボタンの左側を押すと拡大した結果を縮小します。
[Enter] ボタンを傾けることによって、画面のスクロールができます。

解除するには [Esc] ボタンを押します。

- 1 ～ 4 倍まで、0.125 倍刻みに 25 段階で拡大できます。
- P in P 機能で子画面決定後は、親画面と子画面の両方に対して拡大機能を実行します。
- Eズームを行っているときは、本体のボタン操作による台形補正、トラッキング調整、同期調整は行えません。
- 台形補正量が限界に近い状態でEズームを行おうとすると、台形補正量が変化する場合があります。

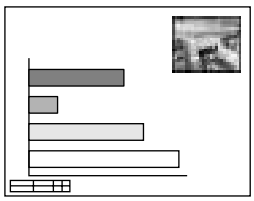
P in P(ピクチャー イン ピクチャー機能)

親画面にはコンピュータ映像、またはコンポーネントビデオ映像、子画面にはビデオ映像(Video、S-Video)を表示できます。
子画面のビデオ映像は、環境設定メニューの「設定」-「P in P」で選択します。☞p.23

- **リフレッシュレートがインターレースに設定されているコンピュータ映像の場合、P in P 機能は働きません。**
- **TV(525i) のコンポーネント映像の場合、P in P 機能は働きません。**

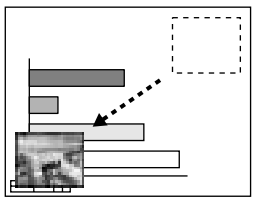
操作

1



機器をすべて接続し、「設定」メニューで子画面の設定を行ったうえでリモコンの [P in P] ボタンを押します。
画面の右上に子画面が、左下に操作ガイドが表示されます。

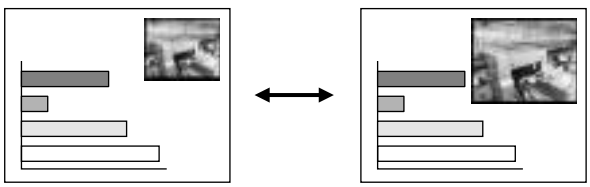
2



リモコンの [Enter] ボタンを傾けて、子画面の位置を移動します。

3

リモコンの [E-Zoom] ボタンを押して子画面のサイズを変更します。

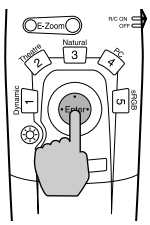


- **子画面のサイズは5段階で切り替えられます。下記の値は、親画面の縦・横の各辺を1とした場合の子画面の辺の比率です。**

1 段階		2 段階		3 段階		4 段階		5 段階
約 1/3.2	⟷	約 1/2.8	⟷	約 1/2.5	⟷	約 1/2.3	⟷	約 1/2.1

- **[P in P] ボタンを押したときの、初期の子画面は 2 段階目の大きさとなります。**

4



リモコン

リモコンの [Enter] ボタンを押して、子画面の表示位置とサイズを決定します。
再び [P in P] ボタンを押すと子画面が消えます。

- 子画面の位置を変更し確定した場合、次に P in P 機能を実行すると子画面は前回確定した場所に表示されます。
- P in P 機能実行時に、E ズームを行うことができます。
- あらかじめ環境設定メニューの「音声」-「音声入力」で親画面と子画面の音声入力端子を設定しておくと、リモコンの [1] ボタンまたは [2] ボタンにより音声の切り替えができます。
  [１] ボタン：親画面の音声
  [２] ボタン：子画面の音声
  （この場合、[3] ～ [5] ボタンは無効になります。）
- 台形補正量が限界に近い状態で P in P を行おうとすると、台形補正量が変化する場合があります。

困ったときに

ここでは、トラブルの解決法について説明しています。

ヘルプの使い方 34

故障かなと思ったら 35

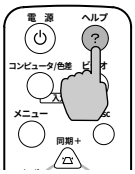
インジケータを見てもわからないとき 37

ヘルプの使い方

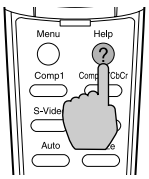
トラブル発生時の解決方法を投写画面に表示できます。質問に答える形式で階層を進んでいきます。映像ソースによって、質問項目の内容は変わります。

操作

1



本体

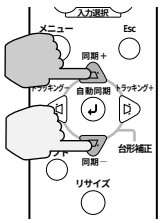


リモコン

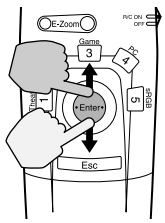
本体の［ヘルプ］ボタン、またはリモコンの[Help]ボタンを押します。

ヘルプメニューが表示されます。

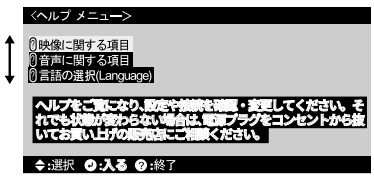
2



本体



リモコン

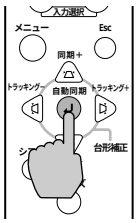


項目を選択します。

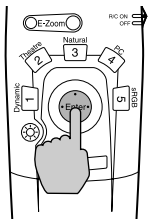
本体の場合は、△ ▽ ボタンが上下キーとして機能します。

リモコンの場合は、[Enter] ボタンを上下に傾けます。

3



本体



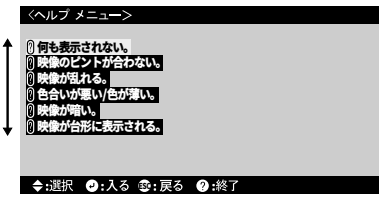
リモコン

項目を決定します。

本体の⊙ボタン、またはリモコンの [Enter] ボタンを押して項目を決定します。

サブメニュー表示に切り替わります。

4



手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。

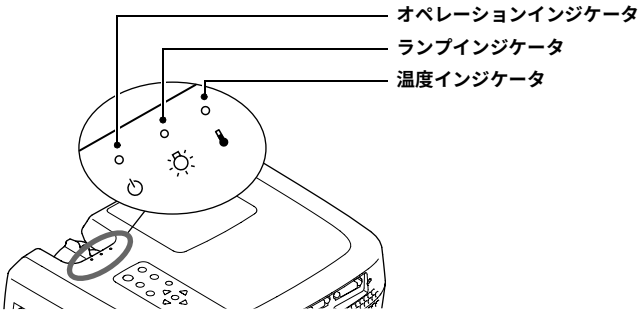
１つ前の階層に戻るには、[Esc] ボタンを押します。

本体の［ヘルプ］ボタンまたは、リモコンの [Help] ボタンを押すとヘルプメニューは解除されます。

ヘルプ機能を使ってもトラブルが解決しないときは、「故障かなと思ったら」(☞p.35) および「インジケータを見てもわからないとき」(☞p.37) をご覧ください。

故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧ください。
本機には、次の 3 種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。



インジケータの状態とその対処方法については、以下の表を参照してください。

●：点灯　☼：点滅　○：消灯

インジケータの状態	状態	原因と処置	参照ページ
赤 ● ⏻ 赤 ☼ ☼ 赤 ☼ 🌡	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センター（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	
赤 ● ⏻ ○ ☼ 赤 ☼ 🌡	ファン異常 / センサ異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センター（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	
赤 ● ⏻ 赤 ● ☼ ○ 🌡	ランプ異常	新しいランプと交換してください。 ランプの交換を行った場合は、ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプおよびランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、ランプを点灯させない構造になっています。	p.46
赤 ● ⏻ 赤 ☼ ☼ ○ 🌡	ランプ点灯失敗	前回、終了時にクールダウン▶▶が完全に終わらないうちに電源プラグを抜き、次に点灯しようとした場合は、この状態になることがあります。 約 2 分間は、そのままの状態でお待ちください。約 2 分経過すると、本機のファンが停止します。ファンが停止したら電源プラグを一旦抜いて、差し直します。電源プラグを差し直すと、状態が復帰しますので本体の［電源］ボタン、またはリモコンの［Power］ボタンを押して電源を入れ直します。 電源を入れ直したときに繰り返しランプ点灯失敗状態になった場合は、ランプを取り出し、ランプが割れていないか確認します。割れていなければセットし直します。割れている場合は、ランプを交換します。その後、本体の［電源］ボタン、またはリモコンの［Power］ボタンを押します。 それでも、インジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センター（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	p.46
赤 ● ⏻ ○ ☼ 赤 ● 🌡	内部高温異常（オーバーヒート）	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約 5 分間は、そのままの状態でお待ちください。約 5 分経過すると、本機のファンが停止します。ファンが停止したら電源プラグを一旦抜いて、差し直します。 オーバーヒートした場合は、次の 2 点を確認して改善します。 ●通気のよい場所に設置していますか。 吸気口・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ●エアーフィルタにホコリが溜まっていませんか。 エアーフィルタが汚れている場合は、掃除をしてください。	『ｾｯﾄｱｯﾌﾟｶﾞｲﾄﾞ』 p.44

		電源プラグを差し直すと、状態が復帰しますので本体の[電源] ボタン、またはリモコンの [Power] ボタンを押して電源を入れ直します。上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センター(本書裏表紙に記載) に修理を依頼してください。	
赤 ○ オレンジ	高速冷却中	(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止します。) ●吸気口・排気口をふさがないよう、通気性の良い場所に設置してください。 ●エアーフィルタの掃除をしてください。	『セットアップガイド』 p.44
オレンジ ○	ランプの交換時期が近い	(異常ではありません。) 新しいランプの用意をしてください。 使用条件により交換時期が早まる場合がありますので、早めのランプ交換をお勧めします。 ※⏻インジケータは、そのときのプロジェクターの状態により異なります。	p.45
オレンジ ● ○ ○	スタンバイ状態	(異常ではありません。) 本体の [電源] ボタン、またはリモコンの [Power] ボタンを押すと投写を開始します。	p.6
緑 ○ ○	ウォームアップ中	(異常ではありません。) そのまましばらくお待ちください。緑色の点滅が点灯に変わります。	p.7
緑 ● ○ ○	投写中	(異常ではありません。)	p.7
オレンジ ○ ○	クールダウン中	(異常ではありません。) ●そのまましばらくお待ちください。 クールダウン▶▶(ランプを冷やす動作) の時間は約 2 分です。この時間は、外気温などによって変わります。 ●クールダウン中は本体の[電源]ボタン、またはリモコンの [Power] ボタンは操作できません。クールダウンが終了し、オレンジ色の点灯に変わってから、もう一度操作してください。	p.8

- **インジケータは異常を示していないのに、投写映像に異常があるときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。**
- **各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。**

インジケータを見てもわからないとき

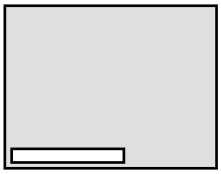
次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照してください。

映像が写らない	☞ p.37,38	**映像が暗い**	☞ p.41
映像が汚い	☞ p.39	**映像が緑色で表示される**	☞ p.41
映像が切れる（大きい / 小さい）	☞ p.40	**音が出ない**	☞ p.41
		リモコンで操作できない	☞ p.42
映像の色が悪い	☞ p.40	**終了しない**	☞ p.42

状態

映像が写らない（何も表示されない）

考えられる原因	対処方法
レンズカバーが付いたままではありませんか？	➜ レンズカバーを外します。☞ p.6
電源ケーブルが外れていませんか？	➜ 本機の電源端子あるいはコンセントとの接続を確認してください。☞ p.6
電源を OFF にした後で、すぐ ON にしませんでしたか？ ⏻インジケータがオレンジ色の点滅中（クールダウン▶▶中）は、本体の［電源］ボタン、またはリモコンの［Power］ボタンの操作はできません。	➜ クールダウンが終了してから本体の［電源］、またはリモコンの［Power］ボタンの操作が有効となります。☞ p.8
本体の［電源］ボタン、またはリモコンの［Power］ボタンを押しましたか？	➜ 本体の［電源］ボタン、またはリモコンの［Power］ボタンを押します。☞ p.7
スリープモードを ON にしていませんか？ スリープモードを「ON」に設定した場合、映像信号が入らない状態で 30 分間操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このとき⏻インジケータがオレンジ色に点灯します。	➜ 本機の電源を入れ直してください。スリープモード設定を解除する場合は、環境設定メニューの「設定」-「スリープモード」を「OFF」にしてください。 ☞「設定」-「スリープモード」p.23
映像の明るさは正しく調整されていますか？	➜ 環境設定メニューの「明るさ」で調整してください。 ☞「映像」-「明るさ」p.20,21
［A/V ミュート］モードになっていませんか？	➜ 本体の［A/V ミュート］ボタン、またはリモコンの［A/V Mute］ボタンを押して A/V ミュート▶▶を解除してください。☞ p.28
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。	➜ スクリーンセーバーを解除したり、入力している映像を一度確認してください。
映像信号が入力されていますか？ 環境設定メニューの「設定」-「ノーシグナル表示」で「OFF」に設定しているときは、メッセージが表示されません。	➜「ノーシグナル表示」で黒または青に設定して、メッセージを表示させてください。 ☞「設定」-「ノーシグナル表示」p.23 メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してください。
全初期化してみてください。	➜ ☞「全初期化」p.25

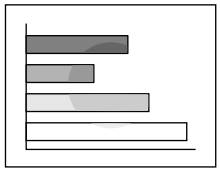


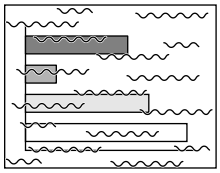
状態

映像が写らない（メッセージが出る）

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」
「映像信号が入力されていません。」

考えられる原因	対処方法
入力信号の設定が接続機器に合っていますか？	➜ 環境設定メニューの「設定」-「Comp1 入力」または「Comp2/YCbCr 入力」で機器の信号に合った信号方式を設定してください。 Comp1入力の場合：Digital-RGB、Analog-RGB、RGB-Video Comp2/YCbCr 入力の場合：Analog-RGB、RGB-Video、YCbCr▸▸、YPbPr▸▸ ☞p.23
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	➜ 本体の［コンピュータ / 色差］、［ビデオ］(リモコンの場合は [Comp1]、[Comp2/YCbCr]、[Video]、[S-Video]) ボタンを押し、映像を切り替えてください。☞p.7
接続しているビデオ機器またはコンピュータの電源は入っていますか？	➜ 電源を入れます。☞p.7
コンピュータから出力されている映像信号の周波数が対応するモードか確認してください。	➜ コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。☞p.53
ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータのときには、プロジェクターに映像信号を出力させることが必要になります。	➜ 通常は映像信号が液晶画面への出力だけで、外部に出力されていませんので、外部に切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶画面に映像が出せないモデルもあります。接続したコンピュータの取扱説明書「外部出力のしかた」「外付けモニタへ出力のしかた」などを参照してください。☞p.7



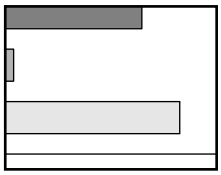


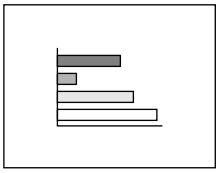
状態

映像が汚い

- 映像がぼやける
- 映像の一部しかピントが合わない
- ピントがまったく合わない
- 映像が乱れる
- ノイズが入る

考えられる原因	対処方法
ピントは正しく調整されていますか？	➜ ピント調整を行います。☞p.13
限界を越えて投写角度を付けて設置していませんか？ 投写角度が大きい場合、上下でピントがずれて合いにくくなることがあります。	➜ 投写角度を変更します。☞p.10
投写距離は最適ですか？	➜ 投写距離の推奨範囲は、0.9m ～ 12.4m です。この範囲で設置してください。 ☞『セットアップガイド』
投写光がスクリーンに対して直角になっていますか？	➜ 投写角度を調整し、投写光がスクリーンに対して直角になるようにします。☞p.10
レンズが汚れていませんか？	➜ レンズを掃除します。☞p.44
レンズが結露していませんか？ 寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。	➜ 電源を切ってしばらく放置してください。
映像の信号方式の設定は合っていますか？	➜ 環境設定メニューの「映像」-「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号によっては「Auto」では判別できないことがあります。☞p.21
入力信号の設定が接続機器に合っていますか？	➜ 環境設定メニューの「設定」-「Comp1 入力」または「Comp2/YCbCr 入力」で機器の信号に合った信号方式を設定してください。 Comp1 入力の場合：Digital-RGB、Analog-RGB、RGB-Video Comp2/YCbCr 入力の場合：Analog-RGB、RGB-Video、YCbCr▸▸、YPbPr▸▸ ☞p.23
ケーブルは正しく接続されていますか？	➜ 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☞『セットアップガイド』
ケーブルを延長していませんか？ ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。	➜ 増幅機器などを接続して確認してください。
「同期▸▸・トラッキング▸▸・表示位置」は正しく調整されていますか？ **（コンピュータを接続している場合）**	➜ 本体の［自動同期］ボタン、またはリモコンの［Auto］ボタンを押して調整します。環境設定メニューで調整することもできます。 ☞p.15,21
解像度の選択は正しいですか？ **（コンピュータを接続している場合）**	➜ 本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。☞p.53

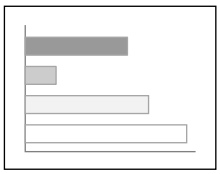




状態

●映像が大きい（映像が切れる）
●映像が小さい

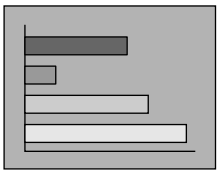
考えられる原因	対処方法
アスペクト比▸▸が正しく選択されていない可能性があります。	➜ 本体の [リサイズ] ボタン、またはリモコンの [Resize] ボタンを押してください。☞p.14
「表示位置」は正しく調整されていますか？	➜ 環境設定メニューの「映像」-「表示位置」で調整してください。☞p.20,21
解像度の選択は正しいですか？（コンピュータを接続している場合）	➜ 本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。☞p.53
ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータの解像度を変更してください。（コンピュータを接続している場合）	➜ 画面いっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像信号を外部出力のみにしてください。☞p.7,10
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？（コンピュータを接続している場合）	➜ コンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。詳しくは、お使いのコンピュータに組み込んでいるビデオドライバのマニュアルをご覧ください。



状態

映像の色が悪い

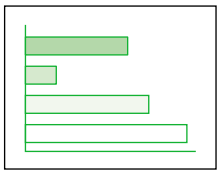
考えられる原因	対処方法
映像の明るさは正しく調整されていますか？	➜ 環境設定メニューの「明るさ」で調整してください。☞「映像」-「明るさ」p.20,21
ケーブル類が正しく接続されていますか？	➜ 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☞『セットアップガイド』
コントラスト▸▸は正しく調整されていますか？	➜ 環境設定メニューの「コントラスト」で調整してください。☞「映像」-「コントラスト」p.20,21
カラー調整は正しく設定されていますか？	➜ 環境設定メニューの「カラー調整」で色を調整してください。☞「高度な設定」-「カラー調整」p.24
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？（表示と映像の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。）	➜ 環境設定メニューで色の濃淡、色合いを設定してください。☞「映像」-「色の濃さ」、「色合い」p.20
ランプの交換時期ではありませんか？ ☼インジケータがオレンジ色で点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいていることを知らせています。ランプの交換時期が近づくと、映像が暗くなったり色合いが悪くなります。	➜ 新しいランプと交換してください。☞p.45,46
入力信号の設定が接続機器に合っていますか？	➜ 環境設定メニューの「設定」-「Comp1 入力」または「Comp2/YCbCr 入力」で機器の信号に合った信号方式を設定してください。 Comp1入力の場合：Digital-RGB、Analog-RGB、RGB-Video Comp2/YCbCr 入力の場合：Analog-RGB、RGB-Video、YCbCr▸▸、YPbPr▸▸ ☞p.23



状態

映像が暗い

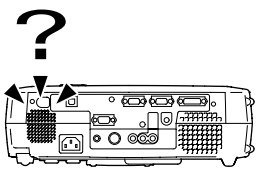
考えられる原因	対処方法
ランプの交換時期ではありませんか？ インジケータがオレンジ色で点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいていることを知らせています。ランプの交換時期が近づくと、映像が暗くなったり色合いが悪くなります。	➜ 新しいランプと交換してください。☞p.45,46
映像の明るさは正しく調整されていますか？	➜ 環境設定メニューの「明るさ」で調整してください。 ☞「映像」-「明るさ」p.20,21
コントラスト▸▸は正しく調整されていますか？	➜ 環境設定メニューの「コントラスト」で調整してください。 ☞「映像」-「コントラスト」p.20,21



状態

映像が緑色で表示される

考えられる原因	対処方法
コンポーネント映像▸▸の入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？ YCbCr と YPbPr をまちがえて設定していると緑色で表示されることがあります。	➜ 環境設定メニューの「設定」-「Comp2/YCbCr 入力」で接続機器の信号に合った信号方式を設定してください。 ☞「設定」-「Comp2/YCbCr 入力」p.23



状態

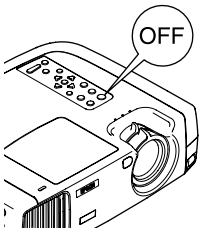
音が出ない

考えられる原因	対処方法
音声入力は正しく接続されていますか？	➜ 使用しているケーブルと、入力端子が正しく合っているか確認してください。☞『セットアップガイド』
音声を入力する端子が選択されていますか？	➜ メニューの「音声」-「音声入力」で音声を入力する端子を設定します。☞p.22
接続した機器から音が出ていますか？	➜ 接続機器の音量などを確認してください。
音量調整が最小になっていませんか？	➜ 聞こえる音量に調節してください。☞p.17
[A/V ミュート] が ON のままではありませんか？	➜ 「A/V ミュート」モードになっていることが考えられます。 本体の [A/V ミュート] ボタン、またはリモコンの [A/V Mute] ボタンを押して A/V ミュート▸▸を解除してください。☞p.28
コンピュータ側で本機の USB オーディオが選択されていますか？（コンピュータを接続している場合）	➜ USB 経由でコンピュータの音声を出す場合は、コンピュータ側のオーディオのプロパティで、本機の USB オーディオが選択されていなくてはなりません。

状態

リモコンで操作できない

考えられる原因	対処方法
リモコンの R/C スイッチが「OFF」になっていませんか？	➜ リモコンの R/C スイッチを「ON」にしてください。☞ p.7
正しい角度でリモコンを操作していますか？	➜ 操作可能範囲は、左右約 30°、上下約 15°です。この範囲内で操作してください。☞『セットアップガイド』
プロジェクターとの距離が遠すぎませんか？	➜ 操作可能距離は、約 10m です。この距離内で操作してください。☞『セットアップガイド』
リモコンレシーバーを接続していて、リモコンをプロジェクターに向けて操作していませんか？	➜ リモコンレシーバーを接続している場合は、リモコンをプロジェクターに向けてではなく、リモコンレシーバーに向けて操作してください。
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	➜ 強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池は入っていますか？	➜ 乾電池をセットします。☞『セットアップガイド』
乾電池が消耗していませんか？	➜ 新しい乾電池と交換してください。☞『セットアップガイド』
乾電池が逆にセットされていませんか？	➜ 乾電池を正しい方向にセットし直してください。☞『セットアップガイド』



状態

終了しない
（[電源] ボタン、または [Power] ボタンを押した後に……）

考えられる原因	対処方法
⏻インジケータがオレンジに点灯したままになっていませんか？ 本機は電源を切っても⏻インジケータは消灯しない構造になっています。	➜ コンセントから電源プラグを抜くと、⏻インジケータは消灯します。
ファンが動いていませんか？ 本体の [電源] ボタン、またはリモコンの [Power] ボタンを押して電源を切った後、クールダウン▶▶を行います。	➜ クールダウンの後、⏻インジケータがオレンジ色で点灯しますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ※クールダウンの時間は、約 2 分です。この時間は外気温などによって変わります。

付　録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくための補足的な知識について説明しています。

お手入れの方法 44

- 各部の掃除 44
  - ・本体の掃除 44
  - ・レンズの掃除 44
  - ・エアーフィルタの掃除 44
- 消耗品の交換 45
  - ・ランプの交換時期 45
  - ・ランプの交換方法 46
  - ・ランプ点灯時間の初期化 47
  - ・エアーフィルタの交換方法 48

ユーザーロゴの登録 49

オプション品一覧 51

対応解像度一覧 52

- コンポーネント映像入力 52
- コンポジット映像／Sビデオ入力 52
- コンピュータ 53

仕様一覧 54

外形寸法図 55

各部の名称と働き 56

- 前面／上面 56
- 本体操作パネル 57
- 背面 58
- 底面 58
- リモコン 59
  - ・カバー内部 59

用語解説 60

索引 62

お手入れの方法

お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。

> 注意
> **掃除を行う前に、別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。**

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

> 注意
> **ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。**

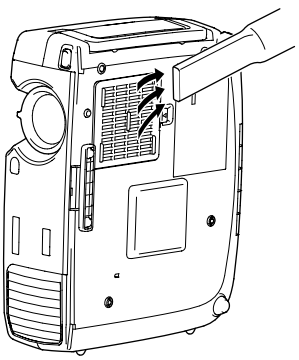
レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。

> 注意
> **レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。**

エアーフィルタの掃除

エアーフィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。
エアーフィルタのごみが中に入らないように、必ず本機を立てたまま掃除機でほこりを吸い取ってください。



- **エアーフィルタの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期です。販売店にご相談ください。**
- **交換用ランプには、交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に、一緒に交換してください。**

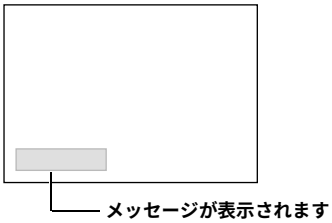
消耗品の交換

ランプとエアーフィルタの交換方法について説明します。

ランプの交換時期

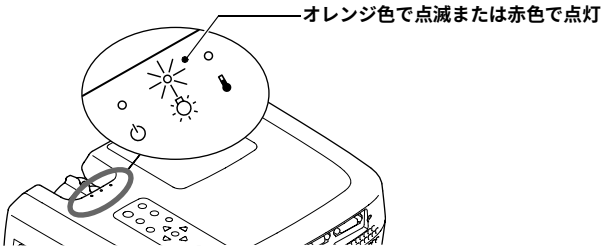
次の場合はランプを交換してください。

- **投写を開始したときに、「投写ランプを交換してください」とメッセージが表示されたとき**



メッセージは 30 秒間表示されます。
30 秒過ぎると、メッセージが解除されます。

- **インジケータがオレンジ色で点滅、または赤色で点灯したとき**



- **初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき**

- **初期の明るさや画質を維持するため、メッセージが表示されたら、なるべく早めにランプを交換してください。**
- **交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約2900時間で表示されます。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。**
- **交換表示は約 2900 時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、2900 時間前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプを準備しておくことをお奨めします。**
- **ランプ交換のメッセージが表示された場合は、スタートアップスクリーンの設定を ON にしていてもユーザーロゴは表示されません。**
- **交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソン OA サプライ株式会社フリーダイヤル 0120-251528 でお買い求めください。**

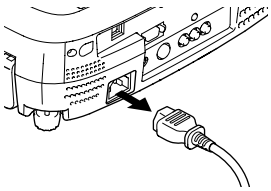
ランプの交換方法

注意

- ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。
  本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、天吊りユニットから外して交換してください。どうしても天吊りのまま交換する場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。また、ランプカバーの真下に立たずに、横から作業してください。
- ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。ランプが十分冷えるにはクールダウン▸▸後、約 30 分間必要です。

操作

1

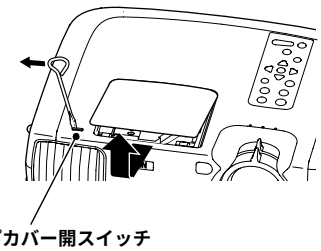


本機の電源を切り、クールダウンが終了してから、電源ケーブルを外します。

☞p.8

クールダウンの時間は、約2分です。この時間は外気温などによって変わります。

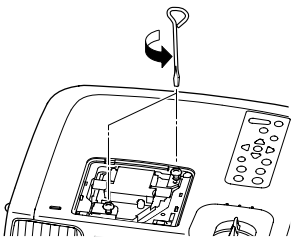
2



ランプが十分冷えてからランプカバーを外します。

ランプが十分冷えるにはクールダウン後、約 30 分間必要です。
ランプカバー開スイッチを交換用ランプに付属のドライバ、または－のドライバでスライドさせると、ランプカバーが浮き上がります。浮き上がった部分に指をかけて本機正面側にスライドさせ、カバーを取り外します。

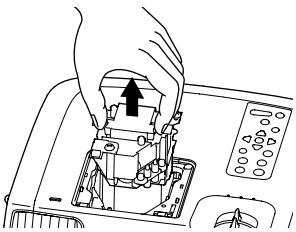
3



ランプ固定ねじ２本をゆるめます。

ランプを本体に固定しているランプ固定ねじ 2 本を、交換用ランプに付属のドライバ、または＋のドライバでゆるめます。

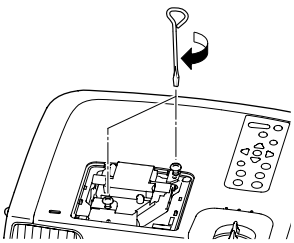
4



ランプを引き出します。

ランプの上面部分のくぼみを指ではさんで持ち上げ、ランプを引き出します。

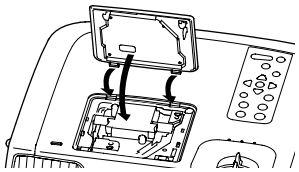
5



新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きにして、カチッと音がするまで押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。

6



ランプカバーを取り付けます。

カバーの２ヶ所のツメを本体に差し込み、反対側をカチッと音がするまで押し込みます。

- **ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。**
- **交換用ランプに交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に合わせて交換してください。**
- **使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。**

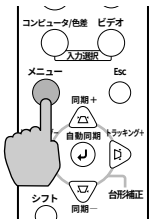
ランプ点灯時間の初期化

本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要があります。

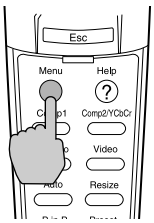
ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

操作

1



本体



リモコン

本体の [メニュー] ボタン、またはリモコンの [Menu] ボタンを押します。

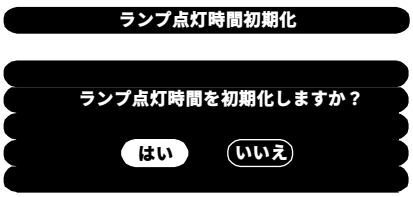
環境設定メニューが表示されます。

2

「情報」-「ランプ点灯時間初期化」の項目を選択します。

本体の⏎ボタン、またはリモコンの [Enter] ボタンを押します。

3



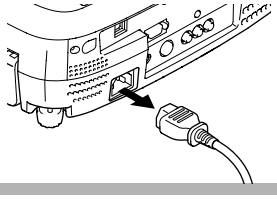
ランプ点灯時間を初期化します。

「はい」を選択し、本体の⏎ボタン、またはリモコンの [Enter] ボタンを押します。

エアーフィルタの交換方法

操作

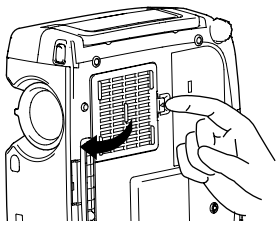
1



本機の電源を切り、クールダウン[1]が終了してから、電源ケーブルを外します。 ☞p.8

クールダウンの時間は、約2分です。この時間は外気温などによって変わります。

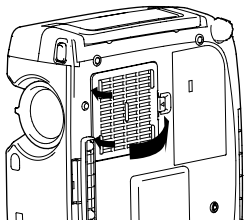
2



エアーフィルタのフック部分のくぼみに指をかけて持ち上げ、エアフィルタを外します。

エアーフィルタのごみが中に入らないよう必ずハンドル面を上にして、本機を立てたまま作業してください。

3



新しいエアーフィルタをセットします。

つめの部分を先に入れてから反対側をカチッと音がするまで押し込みます。

使用済みのエアーフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

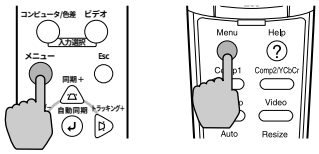
ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは消去されます。

操作

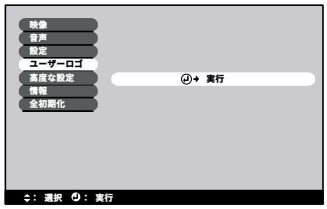
1



本体　　リモコン

ユーザーロゴとして登録したい映像を表示し、本体の［メニュー］ボタンまたはリモコンの［Menu］ボタンを押します。

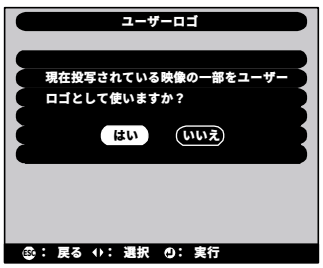
2



「ユーザーロゴ」メニューを選択し、本体の⏎ボタン、またはリモコンの［Enter］ボタンを押します。

台形補正を行っている場合、「ユーザーロゴ」を選択すると台形補正が解除されます。

3



サブメニューで「はい」を選択し、本体の⏎ボタン、またはリモコンの［Enter］ボタンを押します。

4

登録する映像と選択枠が表示されるので、使う位置を選択します。

リモコンの［Enter］ボタンを傾けて、ユーザーロゴとして使いたい部分を選択したのち、本体の⏎ボタン、またはリモコンの［Enter］ボタンを押します。

入力されている映像信号がYCbCr▶▶、YPbPr▶▶の場合は、選択枠は中央付近しか移動できません。

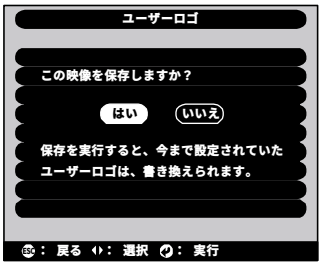
5

使用確認画面で「はい」を選択し、本体の⏎ボタン、またはリモコンの［Enter］ボタンを押します。

6

表示倍率設定画面で倍率を選択し、本体の ⏎ボタン、またはリモコンの［Enter］ボタンを押します。

7



保存確認画面で「はい」を選択し、本体の ⏎ボタン、またはリモコンの［Enter］ボタンを押します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。

- **保存にはしばらく時間がかかります（約40秒）。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。**
- **登録できるサイズは 400 × 300 ドットです。**
- **XGA▸▸以外の解像度のときと、ビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変更されます。**

オプション品一覧

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2002年2月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

交換用ランプ ELPLP17
使用済みランプと交換します。

ポータブルスクリーン ELPSC06
持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。

60型スクリーン ELPSC07
80型スクリーン ELPSC08
携帯型ロールスクリーンです。

54型分割マグネットスクリーン ELPSC09
分割マグネット式スクリーンです。

高輝度ウインドウスクリーン
(40型) ELPRS01
(50型) ELPRS02
(60型) ELPRS03
窓や透明板に投写するときに使います。

D端子ケーブル ELPKC22
(ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m)
BSデジタル放送チューナと接続するときに使います。

コンピュータケーブル ELPKC02
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 1.8m)
コンピュータケーブル ELPKC09
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)
コンピュータケーブル ELPKC10
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)
本機とコンピュータを接続するときに使います。

コンピュータケーブル ELPKC11
(ミニD-Sub 15pin/5BNC▶▶用 1.8m)
本機にワークステーションを接続するときに使います。

PCセレクタ ELPST01
2台のコンピュータを切り替えて使用するときに使います。(ケーブル2本付)

デジタルI/Fケーブル ELPKC20
(DVI-Dオス-オス 3m)
デジタルRGB出力のI/Fを持つコンピュータと接続するときに使うDVI▶▶用ケーブルです。

デジタルI/Fケーブル ELPKC21
(DVI-D/DFP20pin用 3m)
デジタルRGB出力のI/Fを持つコンピュータと接続するときに使うDFP▶▶用ケーブルです。

デジタルI/Fケーブル ELPKC25
(DVI-I/ミニD-Sub 15pin用 3m)
アナログRGB出力のコンピュータを本機に2台接続するときに使います。

リモコンレシーバー ELPST04
離れた場所から、確実にリモコン操作したいときに使います。

天吊り金具※ ELPMB07
本機を天井に取り付けるときに使います。

天井プレート※ ELPFC03
パイプ370(370mm シルバー)※ ELPFP04
パイプ570(570mm シルバー)※ ELPFP05
パイプ770(770mm シルバー)※ ELPFP06
高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

マルチメディアビューワー ELPDC02
ELPDC03
書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

ハードトラベルケース ELPKS26
ハンドキャリングするときに使います。

ソフトキャリングケース ELPKS27
ハンドキャリングするときに使います。

※天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

対応解像度一覧

コンポーネント映像入力

信号	リフレッシュレート（Hz）	リサイズ表示時使用画素数（ドット）	
SDTV▶▶(525i) (D1)	60	800 × 600 （4:3 アスペクト）	800 × 450 （16:9 アスペクト）
SDTV(625i)	50	800 × 600 （4:3 アスペクト）	800 × 450 （16:9 アスペクト）
SDTV(525p) (D2)		800 × 600 （4:3 アスペクト）	800 × 450 （16:9 アスペクト）
HDTV▶▶(750p) 16:9 (D4)		800 × 450 （16:9 アスペクト）	800 × 600 （ズーム 4:3 アスペクト）
HDTV(1125i) 16:9 (D3)		800 × 450 （16:9 アスペクト）	800 × 600 （ズーム 4:3 アスペクト）

コンポジット映像／Sビデオ入力

信号	リフレッシュレート（Hz）	リサイズ表示時使用画素数（ドット）	
TV(NTSC)		800 × 600 （4:3 アスペクト）	800 × 450 （16:9 アスペクト）
TV(PAL,SECAM)		800 × 600 （4:3 アスペクト）	800 × 450 （16:9 アスペクト）

コンピュータ

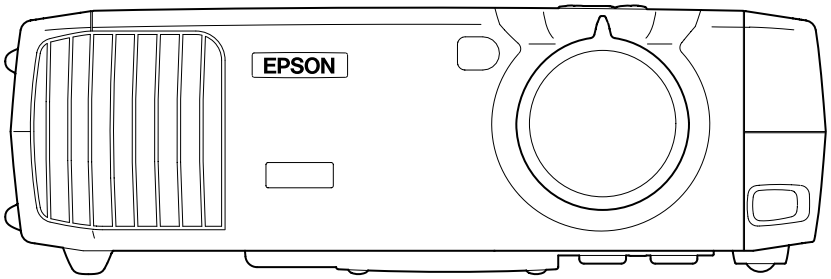
信号	リフレッシュレート（Hz）	解像度（ドット）	リサイズ表示時（リサイズ ON）使用画素数（ドット）	リサイズ表示時（リサイズ OFF）使用画素数（ドット）
PC98		640 × 400	800 × 500	640 × 400
EGA		640 × 350	800 × 438	640 × 350
VGA▶▶	60	640 × 480	800 × 600	640 × 480
VGACGA		640 × 400	800 × 500	640 × 400
VGAEGA		640 × 350	800 × 438	640 × 350
VGA text		720 × 400	800 × 444	720 × 400
		720 × 350	800 × 388	720 × 350
VESA	72/75/85/120, iMac ※2	640 × 480	800 × 600	640 × 480
SVGA▶▶	56/60/72/75/85/120, iMac ※2	800 × 600	800 × 600	800 × 600
XGA▶▶	43i/60/70/75/85/120, iMac ※2	1024 × 768	800 × 600	1024 × 768 ※1
SXGA▶▶	70/75/85/100	1152 × 864	800 × 600	1152 × 864 ※1
SXGA	60/70/85	1280 × 960	800 × 600	1280 × 960 ※1
SXGA	43i/60/75/85	1280 × 1024	750 × 600	1280 × 1024 ※1
SXGA+	60/75/85	1400 × 1050	800 × 600	1400 × 1050 ※1
MAC13 ”		640 × 480	800 × 600	640 × 480
MAC16 ”		832 × 624	800 × 600	832 × 624 ※1
MAC19 ”		1024 × 768	800 × 600	1024 × 768 ※1
MAC21 ”		1152 × 870	794 × 600	1152 × 870 ※1
TV(525i)	60	640 × 480	800 × 600	640 × 480
TV(625i)	50	720 × 540	800 × 600	720 × 540
SDTV▶▶(525p)		640 × 480	800 × 600	640 × 480
HDTV▶▶(750p)		1280 × 720	800 × 450	
HDTV (1125i,1125p)		1920 × 1080	800 × 450	

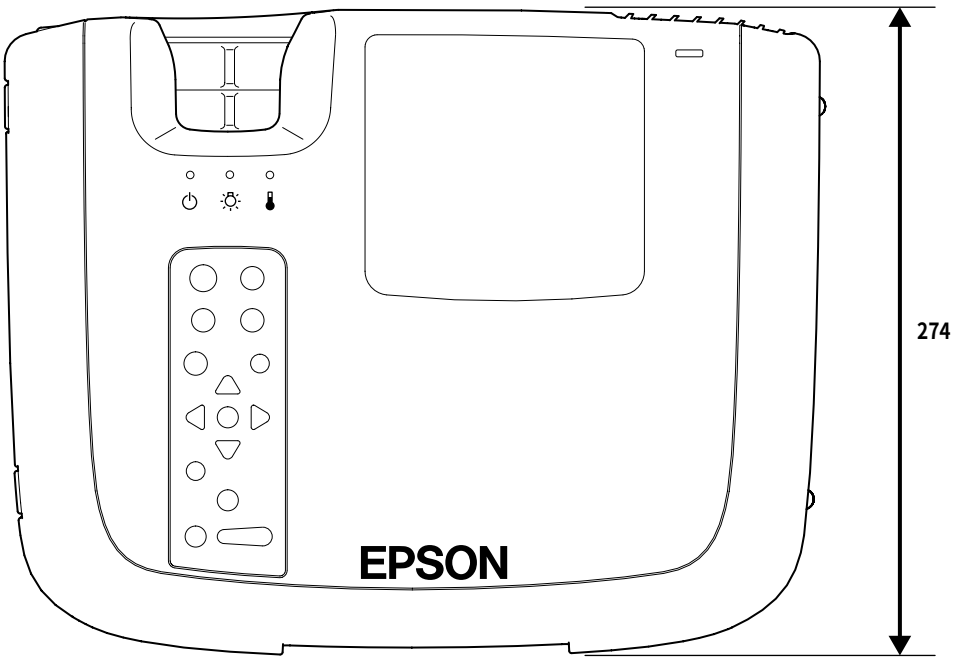
※ 1　仮想（ウィンドウ）表示
※ 2　VGA 出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

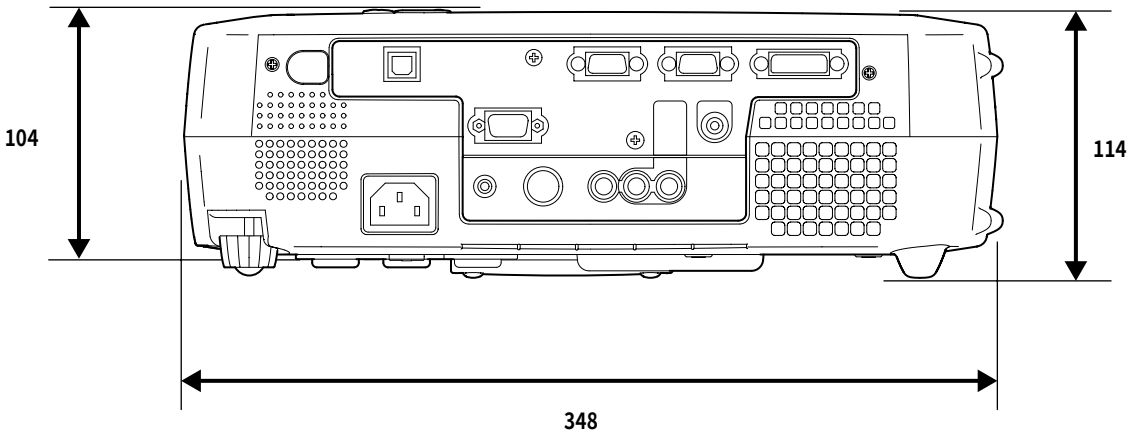
仕様一覧

商品名	ホームシアター・プロジェクター　ELP-TS10		
外形寸法	幅 348 ×高さ 104 ×奥行き 274mm（突起物含まず）		
パネルサイズ	0.9 型		
表示方式	ポリシリコン TFT アクティブマトリクス		
駆動方式	フルライン 12 相ブロック順次書き込み		
画素数	SVGA 480,000 個 (横 800 ×縦 600 ドット) × 3		
フォーカス調整	手動		
ズーム調整	手動 (約 1：1.35)		
ランプ (光源)	UHE ランプ　定格 150W　型番：ELPLP17		
音声最大出力	5W モノラル		
スピーカ	1 個		
電源	100-120V/200-240V ± 10%、50/60Hz AC 定格消費電力 240W スタンバイ時 6.7W（100V 時)		
使用温度範囲	＋ 5 ℃～＋ 35 ℃ (結露しないこと)		
保存温度範囲	－ 10 ℃～＋ 60 ℃ (結露しないこと)		
質量	約 4.2kg		
接続端子	Computer 1 端子：	1 系統	DVI-I
	Computer 2/Component Video 端子：	1 系統	ミニ D-Sub 15pin(メス)
	Audio 1 端子：	1 系統	ステレオミニジャック
	Video 端子：	1 系統	RCA ピンジャック
	S-Video 端子：	1 系統	ミニ DIN 4pin
	Audio 2 端子：	1 系統	RCA ピンジャック× 2(L,R)
	USB 端子：	1 系統	USB コネクタ (B タイプ)
	Control(RS-232C) 端子：	1 系統	D-Sub 9pin(オス)
	Monitor Out 端子：	1 系統	ミニ D-Sub 15pin(メス)
	Remote 端子：	1 系統	ステレオミニジャック

外形寸法図





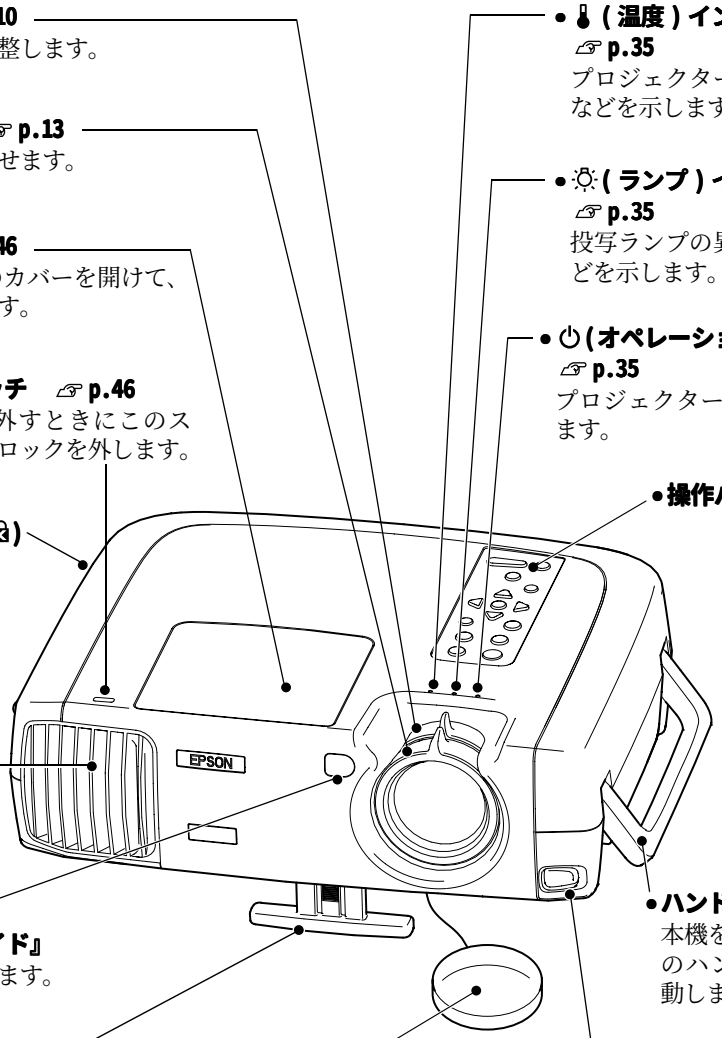


単位：㎜

付録

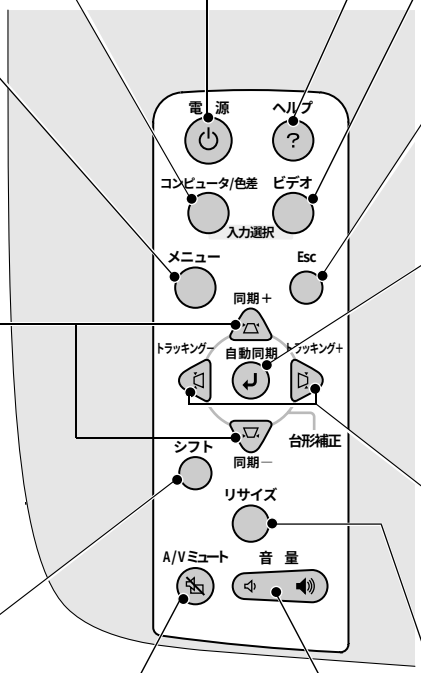
各部の名称と働き

前面／上面



- **ズームリング** ☞ p.10
  投写映像のサイズを調整します。
- **フォーカスリング** ☞ p.13
  投写映像の焦点を合わせます。
- **ランプカバー** ☞ p.46
  ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。
- **ランプカバー開スイッチ** ☞ p.46
  ランプカバーを取り外すときにこのスイッチをスライドさせロックを外します。
- **盗難防止用ロック**▸▸ (🔒)
  ☞ p.61
- **排気口**
- **リモコン受光部**
  ☞『セットアップガイド』
  リモコン信号を受信します。
- **フロントフット** ☞ p.10
  投写角度を調整するときに伸ばします。
- **レンズカバー**
  本機を使用しないときに装着し、レンズが傷ついたり汚れたりするのを防ぎます。
- **🌡 (温度) インジケータ**
  ☞ p.35
  プロジェクター内部の温度異常などを示します。
- **☼ (ランプ) インジケータ**
  ☞ p.35
  投写ランプの異常や交換時期などを示します。
- **⏻ (オペレーション) インジケータ**
  ☞ p.35
  プロジェクターの動作状態を示します。
- **操作パネル** ☞ p.57
- **ハンドル**
  本機を持ち運ぶ際は、このハンドルを持って移動します。
- **フットボタン** ☞ p.10
  このボタンを押したまま本機を持ち上げ、フロントフットの引き出し、微調整、収納を行います。

本体操作パネル



- **[電源] ボタン** ☞ p.7
  電源を ON/OFF するときに押します。

- **[コンピュータ/色差▸▸]ボタン** ☞ p.7
  押すたびに Computer1 端子と Computer2/Component Video 端子の映像ソースを切り替えます。

- **[メニュー] ボタン** ☞ p.26
  押すたびに環境設定メニューを表示 / 終了します。

- **垂直台形補正ボタン** ☞ p.11
  投写画面が垂直 (縦) 方向に台形にゆがんだときに押します。[シフト] ボタンを押したまま、このボタンを押すと、コンピュータの映像の同期を調整できます。

- **[シフト] ボタン** ☞ p.15 ,16
  このボタンは単体では機能しません。
  このボタンを押したまま各 [台形補正] ボタンを押すとオレンジ色で表記されている機能 (同期▸▸・トラッキング▸▸) が働きます。

- **[A/V ミュート] ボタン** ☞ p.28
  映像と音声を一時的に消します。

- **[ヘルプ] ボタン** ☞ p.34
  トラブルが起こったときの対処方法を表示するときに押します。

- **[ビデオ] ボタン** ☞ p.7
  押すたびにVideo端子とS-Video端子の映像ソースを切り替えます。

- **[Esc] ボタン** ☞ p.27 ,34
  実行中の機能を終了するときに押します。環境設定メニューやヘルプを表示中は1つ上の階層に戻ります。

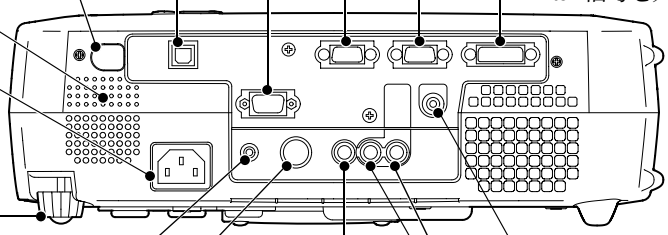
- **[自動同期] ボタン** ☞ p.15 ,26 ,34
  コンピュータ映像を自動調整し、最適化します。
  環境設定メニューやヘルプが表示されているときは、↵として働きます。メニュー項目などを選択し、次に進むときに押します。

- **水平台形補正ボタン** ☞ p.11
  投写画面が水平 (横) 方向に台形にゆがんだときに押します。[シフト] ボタンを押したまま、このボタンを押すと、コンピュータの映像のトラッキングを調整できます。

- **[リサイズ] ボタン** ☞ p.10 ,14
  アスペクト比▸▸を切り替えます。

- **[音量] ボタン** ☞ p.17
  内蔵スピーカの音量を調節します。

背面



●Control(RS-232C) 端子
RS-232C ケーブルでコンピュータと接続します。サービス用の端子で通常は使用しません。

●USB 端子
☞『セットアップガイド』
USB ケーブルでコンピュータと接続します。

●リモコン受光部
☞『セットアップガイド』
リモコン信号を受信します。

●スピーカ

●電源端子 ☞ p.6
電源ケーブルを接続します。

●リアフット ☞ p.11
投写角度を水平に調整するとき使用します。

●Remote 端子
オプションのリモコンレシーバーを接続します。

●S-Video 端子
☞『セットアップガイド』
ビデオ機器のSビデオ▸▸信号を入力します。

●Video 端子
☞『セットアップガイド』
ビデオ機器のコンポジット映像▸▸信号を入力します。

●Monitor Out 端子
☞『セットアップガイド』
投写しているコンピュータのアナログ映像信号を外部モニタに出力します。Computer1 端子より入力されるデジタル映像信号とビデオ機器の信号には対応していません。
使用するときはカバーを取り外してください。

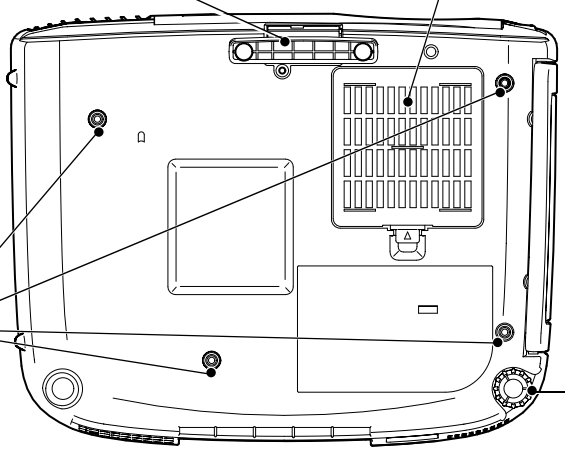
●Computer2/Component Video 端子
☞『セットアップガイド』
ビデオ機器のコンポーネント映像▸▸や、コンピュータのアナログ映像信号を入力します。

●Computer1 端子
☞『セットアップガイド』
コンピュータのデジタル/アナログ RGB 信号を入力します。

●Audio1 端子
☞『セットアップガイド』
音声信号を入力します。
ステレオミニジャックで接続します。

●Audio2 端子
☞『セットアップガイド』
音声信号を入力します。

底面



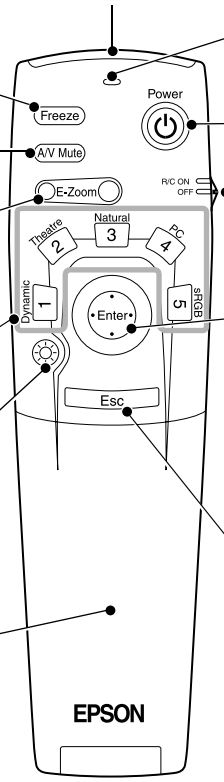
●フロントフット

●エアーフィルタ(吸気口)
☞ p.44 ,48
吸気時に、本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。ランプ交換時には、エアーフィルタも交換します。

●天吊固定部 (4 箇所)
☞ p.51
『セットアップガイド』
天井から吊り下げて使うとき、天吊り用のオプションを取り付けます。

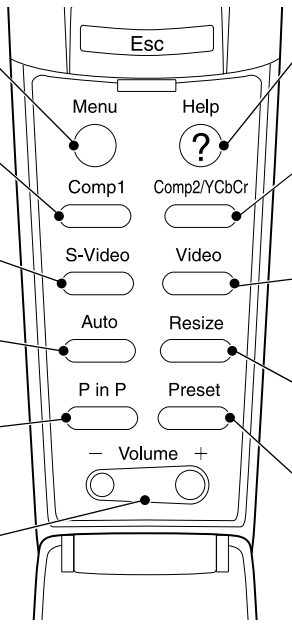
●リアフット

リモコン



- **リモコン発光部** ☞『セットアップガイド』
  リモコン信号を出力します。
- **[Freeze] ボタン** ☞ **p.28**
  映像を一時停止します。
- **[A/V Mute] ボタン** ☞ **p.28**
  映像と音声を一時的に消します。
- **[E-Zoom] ボタン** ☞ **p.29**
  投写サイズは変えずに、映像を拡大 / 縮小します。
- **カラーモードボタン** ☞ **p.13**
  ボタンに対応しているカラーモードに切り替えます。
- **[☼（照光）] ボタン** ☞『セットアップガイド』
  ボタンを押すと [Enter]、[Esc]、☼以外のボタンが 10 秒間光ります。
- **カバー**
  カバー内部のボタンを使うときに開けます。
- **インジケータ**
  リモコン信号を出力しているときに発光します。
- **[Power] ボタン** ☞ **p.7**
  プロジェクターの電源を ON/OFF します。
- **R/C スイッチ** ☞ **p.7**
  リモコンの電源を ON/OFF します。
- **[Enter] ボタン** ☞ **p.26,34,『セットアップガイド』**
  環境設定メニューやヘルプ表示中に押した場合は、メニューの項目を決定したり、1 つ下の階層に進みます。
  コンピュータを接続して、リモコンをワイヤレスマウスとして使うときは、ボタンを上下、左右に傾けると、傾けた方向にポインタが移動します。押すと左クリックとして機能します。
- **[Esc] ボタン** ☞ **p.27,34,『セットアップガイド』**
  実行中の機能を終了します。環境設定メニューやヘルプ表示中には 1 つ上の階層へ戻ります。コンピュータを接続して、リモコンをワイヤレスマウスとして使用するときは、マウスの右クリックとして機能します。

カバー内部



- **[Menu] ボタン** ☞ **p.26**
  環境設定メニューを表示 / 終了します。
- **[Comp1] ボタン** ☞ **p.7**
  Computer1 端子からの映像に切り替えます。
- **[S-Video] ボタン** ☞ **p.7**
  S-Video 端子からの映像に切り替えます。
- **[Auto] ボタン** ☞ **p.15**
  コンピュータ映像を自動調整し、最適な状態にします。
- **[P in P] ボタン** ☞ **p.30**
  ピクチャーインピクチャー機能を実行します。
- **[Volume] ボタン** ☞ **p.17**
  内蔵スピーカの音量を調整します。
- **[Help] ボタン** ☞ **p.34**
  トラブルが起こったときの対処方法を表示します。
- **[Comp2/YCbCr] ボタン** ☞ **p.7**
  Computer2/Component video 端子からの映像に切り替えます。
- **[Video] ボタン** ☞ **p.7**
  Video 端子からの映像に切り替えます。
- **[Resize] ボタン** ☞ **p.10 ,14**
  アスペクト比▸▸を切り替えます。
- **[Preset] ボタン** ☞ **p.22**
  あらかじめ登録してあるコンピュータ映像の解像度を選択します。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

5BNC	アナログのビデオ信号を入力するコネクタです。
A/V Mute **A/V ミュート**	一時的に音声と映像を消すことをいいます。本機では本体の [A/V ミュート] ボタンまたは、リモコンの [A/V Mute] ボタンを押すことにより音声と映像を一緒に消すことができます。再び本体の [A/V ミュート] または、リモコンの [A/V Mute] ボタンを押すと解除されます。
DFP	Digital Flat Panel の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。
DVI	Digital Visual Interface の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。 DVI はパソコン以外にデジタル家電もターゲットにした規格であり、DFP よりも高解像度の画像が転送できます。
Freeze **フリーズ**	一時的に映像のみを停止することをいいます。本機では [Freeze] ボタンを押すことにより映像のみを停止することができます。再び [Freeze] ボタンを押すと解除されます。
HDTV	High-Definition Television の略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・垂直解像度 750p、1125i 以上 (p はプログレッシブ走査、i はインタレース▶▶走査) ・画面のアスペクト比は 16：9 ・ドルビーデジタル▶▶音声の受信、再生（あるいは出力）
SDTV	Standard Definition Television の略で、HDTV の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム (OS) やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。
SVGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 800 ドット×縦 600 ドットのものを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,280 ドット×縦 1,024 ドットのものを呼びます。
S ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号) の 2 つの独立した信号からできている映像をいいます。
VGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 640 ドット×縦 480 ドットのものを呼びます。
XGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,024 ドット×縦 768 ドットのものを呼びます。
USB	Universal Serial Bus の略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
YCbCr	現行のテレビ (NTSC 方式) で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。 Y(輝度信号)CbCr(クロマ (色) 信号) で表します。
YPbPr	ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。 Y(輝度信号)PbPr(色差信号) で表します。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が 16：9 と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は 4：3 です。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかった色合いになります。
インターレース	静止画解像度が同一の画像を放送するのに、必要な映像信号の帯域幅が、順次走査に比べて半分で済むことをいいます。
クールダウン	本体の [電源] ボタン、またはリモコンの [Power] ボタンを押しランプを消灯させても、ランプの冷却は引き続き行われています。冷却ファンが回転するのと同時に、操作パネルやリモコンのボタン操作ができなくなります。この間をクールダウンと呼びます。クールダウン時間は、約 2 分です。この時間は外気温等によって変わります。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。

コンポジット映像	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号 (NTSC 方式) です。 カラーバー信号の中の伝送用信号 Y(輝度信号) とクロマ (色) 信号からできている映像を言います。
コンポーネント映像	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb 、Pr(色差信号) の 3 つの独立した信号からできている映像をいいます。
色差信号 (コンポーネント)	ビデオ機器から赤 - 輝度 (R-Y) 、輝度 (Y) 、青 - 輝度 (B-Y) の 3 つの信号を 3 本のケーブルで送る方式で、コンポジット信号 (赤、緑、青の色信号と、その輝度信号を 1 本のケーブルで送る方式) とくらべて、よりきれいに投写することができます。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。 七陽商事株式会社　情報機器事業部 〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7(ナナヨービル) Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367
同期 (Sync.)	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相 (山のずれ) を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数 (山の数) を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは 2 つのスピーカを用いた 2ch 方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカ、リア 2ch スピーカ、サブウーファを追加した 6ch（5.1ch）方式となっています。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために 1 秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ (Hz) で設定します。

索引

アルファベット

Audio1 端子 ..... 58, セットアップガイド
Audio2 端子 ..... 58, セットアップガイド
A/V ミュート機能 23,28
BS デジタルチューナの映像 ..... セットアップガイド
Computer1 端子 ..... 7,58, セットアップガイド
Computer2/Component Video 端子
..... 7,58, セットアップガイド
Control(RS-232C) 端子 58
DFP 51
DVI 51
E ズーム機能 29
HDTV 14,52
Monitor out 端子 ..... 58, セットアップガイド
P in P 機能 23,30
R/C スイッチ 7,59
Remote 端子 58
RGB 24
SDTV 14,52
sRGB 13,20,21
S-Video 端子 ..... 7,58, セットアップガイド
Sync.(同期) 16,21
S ビデオ ..... 52,60, セットアップガイド
USB 端子 ..... 58, セットアップガイド
USB マウス ..... セットアップガイド
Video 端子 ..... 7,58, セットアップガイド
YCbCr 20,23
YPbPr 20

アイウエオ

ア

明るさ 20,21
アスペクト比 14
色合い 20
色温度 24
色の濃さ 20
インジケータ 35,56
エアーフィルタの交換方法 48
エアーフィルタの掃除 44
映像ソース 25
「映像」メニュー 20
オーバーヒート 36
オプション品 51
オペレーションインジケータ 35,56
音声入力 22
「音声」メニュー 22
温度インジケータ 35,56
音量 17,22

カ

外形寸法図 55
解像度 52
外部モニタ ..... セットアップガイド
各部の名称と働き 56
画質の調整 13
カラー調整 24
カラーモード 13,20,21
環境設定メニューの機能 20
環境設定メニューの操作方法 26
クールダウン 8,36
言語 24
高音 22
「高度な設定」メニュー 24
コントラスト 20,21
コンピュータとの接続 ..... セットアップガイド
コンポーネント映像 ..... 52,58, セットアップガイド
コンポジット映像 ..... 52,58, セットアップガイド

サ

サブメニュー 20
シャープネス 20,21
自動調整 15
周波数 25
終了 8
仕様一覧 54
使用温度範囲 54
「情報」メニュー 24
ズームリング 10,56
スクリーンサイズ ..... セットアップガイド
スタートアップスクリーン 24
スピーカ 58
スリープモード 23
接続端子 54,58
設置方法 ..... セットアップガイド
「設定」メニュー 22
「全初期化」メニュー 25
操作パネル 57

タ

ターゲットスコープ 29
対応解像度 52
台形にゆがむ場合の補正 11
縦キーストーン 12,22
通信ポート 24
低音 22
デジタル RGB ..... 51,58, セットアップガイド
電源ケーブル 6
電源端子 6,58
電池カバー(リモコン) ..... セットアップガイド
電池の交換時期 (リモコン) ..... セットアップガイド
電池のセット (リモコン) ..... セットアップガイド
天吊り ..... 24,51,58, セットアップガイド
同期 (Sync.) 16,21
同期極性 25
同期モード 25
投写角度 10
投写距離 ..... セットアップガイド
投写サイズ ..... セットアップガイド
盗難防止用ロック 56
トップメニュー 20
トラッキング 15,21

ナ

入力解像度 22,25
入力信号 25
入力表示 23
ノイズリダクション 21
ノーシグナル表示 22

ハ

ハンドル 56
ピクチャー イン ピクチャー 23,30
ビデオ機器との接続 ..... セットアップガイド
ビデオ信号方式 21,25
表示位置 15,20,21
ピント 13
フォーカスリング 13,56
フット調整 10
フットボタン 10,56
フリーズ機能 28
プリセット登録 22
フロントフット 12,56,58
ヘルプの使い方 34
保存温度範囲 54
本体の掃除 44

マ

メニュー 20

ヤ

「ユーザーロゴ」メニュー 23
ユーザーロゴの登録 49
用語解説 60
横キーストーン 12,23

ラ

ランプインジケータ 35,56
ランプ点灯時間 25,47
ランプ点灯時間の初期化 25,47
ランプの交換時期 45
ランプの交換方法 46
ランプカバー 46,56
リアフット 11,58
リサイズ表示 10,14,52
リモコン ..... 59, セットアップガイド
リモコン受光部 ..... 56,58, セットアップガイド
リモコン発光部 ..... 59, セットアップガイド
リフレッシュレート 25
レンズカバー 56
レンズの掃除 44

ワ

ワイドサイズの映像 14
ワイヤレスリモコン機能 ..... セットアップガイド

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者 (裏表紙参照) 以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低 (瞬時電圧低下) 基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会 (社団法人日本電子工業振興協会) のパソコン業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、PS/2 は、International Business Machine Corp. の商標または登録商標です。
Macintosh は、Apple Computer Inc. の登録商標です。
Windows、Windows3.1、Windows95、Windows98、Windows2000 は米国マイクロソフト社の商標です。
EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

© セイコーエプソン株式会社　2002

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネットFAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み・ドア toドアサービス依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	ドア toドアサービス受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	同右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア toドア専用受付電話 365日受付可	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	同右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	同右	098-852-1420

＊「ドア toドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡ください。
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊修理について詳しくは、ホームページアドレスhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
0570ー004110（ナビダイヤル）※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00（祝日・弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、（0263）54-5800までお電話ください。
＊新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌（011）221ー7911 東京（042）585ー8500 名古屋（052）202ー9532 大阪（06）6397ー4359 福岡（092）452ー3305

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。
エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.i-love-epson.co.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス
各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120ー251528 でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

82202002

この取扱説明書は100%再生紙を使用しています。
環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

Printed in Japan
402171401
(9002541)
02.04-.2A(C05)